

もったいない・おかげさま・ほどほどに、が環境と人間を育てる

# M・H通信

M·O·H Journal

- to communicate and convey the message of Shiga's traditional principles of M·O·H -

特集：「社会」  
未来へのラブコール

47号

2015  
Spring





「おうみこっとなショール」

やっと出来た、農薬を使わず、私達の手で育て、摘み取った純近江産の綿で作った作品です。

従来の木綿とは違う、この柔らかさ、一度、触ってみてください。



これがコットンボール。品種によって色が違う。緑、白、茶

おうみこっとな夢つむぎのメンバー。各々に得意技あり



● おうみこっとな

洋裁歴40年の彦根市出身の澤とし江さんが、着物のリフォームから綿づくりに興味を抱き、地域プロデューサーの育成を目指す淡海ネットワークセンターの「おうみ未来塾」でのグループ活動で（澤さんが中心になって）立ち上げたグループ「おうみこっとな夢つむぎ」が作ったブランドです。活動6年目で農薬を使わず、グループの手で育て、摘み取った純近江産の綿で作りました。

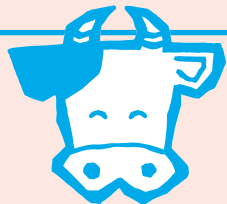
【問合せ】

おうみこっとな夢つむぎ

滋賀県彦根市本庄町 2479

TEL&FAX：0749-43-7201

<http://oumicotton.web.fc.com/>



「M・O・H」のマーク=牛

牛は環境の象徴ともいえます。牛糞はメタンガスになり、肥料にもなります。大地を作り、食物を育て、生物を養います。私たちは命の源ともいえる、牛を「MOH」のマークとし、循環型社会の象徴とします。

★ M・O・H通信の役割 ★

持続可能で豊かな循環型社会を築く社会人の意識を向上するためM・O・H通信は情報を発信し交流を続けます

- |   |   |                     |                            |
|---|---|---------------------|----------------------------|
| M | → | <b>循環</b><br>もったいない | 他の生命を奪って得たものを使わせて頂く        |
| O | → | <b>共生</b><br>おかげさま  | 人は一人では生きられない、環境によって生かされている |
| H | → | <b>抑制</b><br>ほどほどに  | 欲はほどほどに、良き環境を作り上げるために      |





# contents

## 目次

### 特集:「社会」未来へのラブコール

M・O・H巻頭言

**「幸福」を間違えていないか** 森 建司 …… 4

M・O・Hな人

**持続させるために常識や思い込みをちょっとズラす** 殿村 美樹 …… 5

① M・O・H対談 (オプテックス株式会社)

**「己よし、相手よし、世間よし」で多様性のある豊かな社会を**  
小林 徹 & 森 建司 …… 7

② M・O・Hインタビュー (滋賀県知事)

**ええとこ Shi-Ga 夢をつかめ!** 三日月 大造 …… 15

③ M・O・Hインタビュー (長浜市長)

**住みやすさナンバーワン都市 長浜へ** 藤井 勇治 …… 20

④ 寄稿—めざす未来の姿を描きながら

**スウェーデンの社会づくり** 花田 眞理子 …… 27

⑤ 寄稿—「東近江市」を対象とした調査研究の結果

**これからの豊かさ社会とは** 内藤 正明 …… 34

⑥ 寄稿

**未来へ続く八風街道** 美里 けんじ …… 38

里のお話

**節分草の咲く村** 三山 元暎 …… 41

寄稿

**しがのええもん五十三次～おいしいもの編～**

「しがのええもん五十三次」勝手に選定委員会 …… 42

M・O・H活動—「よばれやんせ弁当」メニューと生産者のご紹介

**第4回 よばれやんせ湖北2014** …… 49

なでしこファーマーズ—第3回 作物から商品へ in セトレマリーナびわ湖

**～食hana咲かそう!～食について話す交流会2014** …… 51

環人ウォーク

**M・O・Hな想い** …… 55

本の紹介 …… 58

美の滋賀語り部マイ★スター

**美の滋賀語り部マイスター講座2014** …… 59

大地からのメッセージ

**山の上のイルカ** 武部 治代 …… 61

漫画

**山暮らし子育て日記**

オノ ミユキ …… 63

講演日記 …… 65

**M・O・Hニュース** …… 66

4コマ漫画

**にこやか** …… 67

巻末言

**未来へのラブコール**

…… 68

**通信概要** …… 69

**読者の声** …… 70

表紙  
朽木産の木を使ったオノミ  
ユキさんの新居(加藤邸)。  
右奥が旧邸。左から設計士、  
ご家族とお友達、そして大  
工さん。





# 「社会」 未来へのラブコール

魚のゆりかご水田で水車（みずぐるま）を体験（野州市須原）



依然として、わが国の政策は経済成長を続けることにある。それは国民の大多数が、更なる豊かさを期待しているからなのだろうし、また、わが国が世界に存在感を示し続けるために成長する経済力を必要としているからでもあるのだろうか。

七十年前の敗戦時、日本の国家社会は崩壊した。その大混乱の中から経済を立て直し、豊かな社会体制を築いてきた。そ

の陰には国民の強い願望と努力がある。それを可能にしたのは戦争で壊滅的な被害を被った人たちが、霞のごとく消えてしまった「幸福」を取り戻す最高手段として、経済的な豊かさへの願望に支配され続けていたからだろう。

しかし、この経済の繁栄の陰には、

成長を続けることによって、本来目指していた方向と矛盾するものが現れてくる。

経済成長の基盤は競争社会にある。競争の過程で敗者は去っても、全体のスケールは拡大していく。だから競争社会は善なる社会であり、そのなかで競争に勝ち残ることを使命として個人

## 「幸福」を間違えていないか

森 建司

も組織も努力を重ねてきた。

この経済至上主義社会では経済合理主義がすべての判断基準になる。個人も企業も地域社会も、そして国家もこの判断基準を、あたかも社会の（個人にすれば人生の）倫理であるかのように、多くの人々に信じ込ませる社会が形成されてきた。

本来、人は幸福を求めて生きている。その手段として働く、そして経済をはじめいろいろな社会システムが出来上がっていく。子どもの時から激しい競争に負けない根性を叩きこまれ、大学や就職を通じて、生涯の労働や生活の中での苦しさに耐え忍んできた。

さて、その中で自分の人生は幸福だったろうか。もちろん幸福感は人によって様々だが、どんな苦痛に耐えても競争に勝つ、その競争に勝つことだけが幸福

だという、経済合理主義的な倫理基準はやはり間違っている。

「もつたいない・おかげさま・ほどほどに」の心で生きる幸せの道。この「共生社会の基本倫理」に立ち返ることこそが、持続可能社会の幸せにつながる唯一の道であると考えている。







出雲大社にて

## とのむら みき 殿村 美樹

株式会社TMオフィス代表取締役PRプロデューサー

〈寄稿〉

# 持続させるために 常識や思い込みを ちよつとズラす

M・O・H  
な人

番外編

視点を変えると世の中が面白く  
見えてくる。そんなコツをTMオフィ  
スの殿村さんから教わりました。

京都の衣笠にひっそりと佇む「たて持院」。清水寺や金閣寺のような観光客で賑わうお寺ではありません。どちらかというところ、ひっそりとした静かなお寺です。

実はこのお寺、足利家の菩提寺で、あの足利尊氏のお墓があります。しかし、そのお墓がびっくりするほど小さいのです。

足利尊氏といえば歴史の教科書に太字で出てくるほどの人物。お墓は、山ほど大きくても不思議ではありません。むしろ大きな方が「さすが尊氏、すごいお墓だ」と納得できるでしょう。

それなのに、なぜ、一般人よりも小さいほど、ごちんまりしたお墓に眠っているのでしょうか。そこには、知られざるエピソードがありました。

足利尊氏が亡くなったとき、尊氏は逆賊と見なされていました。天皇に逆らって、武家社会をつくったからです。もちろん、尊氏は歴史的偉業を成し遂げたことに違いありません。しかし、それが社会に



評価されるのは後の世のこと。

当時の世の中には「尊氏、よくやった」と思わない人たちがたくさんいました。時代の変わり目には、流れに逆らう人たちが多くいるものです。だから、墓は小さいのだそうです。

理由はひとつ。大きく作ったら壊されてしまうから。菩提寺の役割は、尊氏の偉業を後世に伝えて歴史に残すことだからです。

その代わり…天に上った尊氏から見下ろすと、日本一美しい墓に見えるように、周囲に池や庭がつくられました。菩提寺の役割は、天に昇った尊氏に「あなたが行ったことは、素晴らしいことでした」と伝えることだからです。

こんなに素晴らしい偉業を成し遂げたとわかっていても、今すぐ、それを自慢したら、それは何にもならない。すぐに変化を受け入れられる人は、ほとんどいないのですか？

最も大切なことを見極め、今すぐ「凄いですね」と讃えられなくても、後世へしっかり伝えることが大切なのです。

このエピソードはそのまま、地域の活

性化に役立ちます。

地域は今このときも、文化をつくり、歴史を刻んでいます。私たちは、そんな地域をイキイキと持続させなければなりません。

そのためには、「何が一番大切なのか」をしつかり見極め、歴史を繋いでいかなければなりません。

- ・今の価値観で、勝つことばかり考えていませんか？
- ・地域を客観的にみつめたことがありますか？
- ・子孫のために文化や歴史をつくっていかうと思っっていますか？

今一度、しつかり考えてみましょう。そして、今の常識や思い込みをちょっとスラしてみてください。

天に昇った尊氏に向けて「素晴らしい墓をつくった等持院のように」「誰のために」「何をするか」をちよっとだけスラして確認するのです。

すると、目からウロコの答えが見つかることが多いものです。

日本全国津々浦々、地域が元気いっぱいになりまわす。

Miki Tonomura

スラして一発逆転!!

●このむらみき

地方や伝統文化、中小企業を活性化  
する独自の手法を  
持つ、PR（パブリック・リレーションズ）の専門家。  
関西大学社会学部  
「広報論」講師、  
同志社大学大学院  
MBAプログラム  
「地域ブランド戦略」教員（2015年4月就任）、内閣官房「ふるさとづくり有識者会議」委員、総務省「地域イノベーション有識者懇談会」委員、経済産業省「地域のストーリーづくり研究会」委員、厚生労働省「公的年金の分かりやすい情報発信モデル事業検討会」委員。

著書／『テレビが飛びつくPR』ダイヤモンド社、『売れないものを売るスラシの手法』青春出版社、『欲望直撃のしかけ』すばる舎。

○株式会社TMOオフィス  
大阪市中央区平野町4-7-7 平野町イシカワビル  
TEL: 06-6231-4426  
http://www.tm-office.co.jp/



## ●対談



こばやし とおる  
**小林 徹**  
 オプテックス株式会社  
 取締役会長 兼 代表取締役社長



もり けんじ  
**森 建司**  
 循環型社会システム研究所  
 代表

〈「社会」未来へのラブコール〉

# 「己よし、相手よし、世間よし」で 多様性のある豊かな社会を

大津市に本社を構える「オプテックス」は一般消費者にはあまりなじみのない社名ですが、実はセンサ分野では世界でも屈指の大手企業。工場や商業施設向けの自動ドアや防犯センサ製品の会社です。一代で上場企業に育てあげた創業者の小林徹社長に事業成功のポイントをうかがいました。鍵はニッチな着眼点と若き日の苦悩体験!? 自分が充足してこそ社会にも貢献できる三方よし精神とは？

■ オプテックス株式会社 本社（大津市雄琴）

■ 2015年1月14日





## ニッチな着眼点で世界企業に

**森** 小林社長が若くして滋賀で創業された会社はいまや立派な上場企業になって、社会や地域に貢献しておられますね。御社の経営理念だけでなく、小林社長の生き方そのものがすばらしいと以前から思っておりました。創業されたときは何歳だったんですか？

**小林** 会社の設立は1979年、私が31歳の時でした。今年で36年目です。

**森** 会社を興されたのが31歳！

**小林** 私と前の会社の上司だった人と2人が中心となって、立ち上げました。

**森** まず、オペテックスについて簡単にご説明いただけますか。

**小林** 赤外線技術をコアに、さまざまなセンシング技術を応用し、防犯用・自動ドア用・産業機器用等のセンサを開発・製造・販売しているメーカーです。

創業当時、赤外線はターゲットを追いかけていくミサイルなどに使われる軍用の特長な技術でした。前の会社で赤外線研究会に入っていて、人間からでてくる微量の遠赤外線を感じとる技術を使

民生化したら事業を興せるのではないかなと考えたのが創業のきっかけです。

**森** 売り上げの半分は侵入者検知センサなどのセキュリティ事業です。屋外で使用するセンサは、外部の環境に左右され、安定的な検知をするのが非常に難しいものです。当社はさまざまな環境での実験を重ね、屋外でも安定的に検知できるセンサを開発しました。現在は、屋外用センサでは世界で4割のシェアを保有しています。また、私たちの生活になじみ深い自動ドアセンサは世界で約3割のシェアをいただいております。

**森** 御社の強みがどこにあるのか、ぜひ教えていただきたいです。

**小林** 強みは、独自のアイデアとそれを実現する技術力です。旬の技術と当社の強みであるセンシング技術を組み合わせ、他の人がまだ目をつけていないニッチ市場で成長を実現してきました。そもそもセンサは一つで何でもオールマイティーに対応できるというものではなくて、使い方や使う人を限定しないと満足に機能しないので、ターゲット

トはニッチになるのです。

**森** ニッチというと、具体的にどういうことなんですか？

**小林** 例えば旬のLED照明ですが、大手も多く参入しており、普通のLED照明事業に我々が参入しても勝てる見込みはありません。しかし、当社のセンシング技術と組み合わせ、人や車をセンサが感知した時、明るくなる調光型LED照明を開発しました。いない時は、照度を落とすことで、さらなる省エネにつながります。これにより、まだ競合がいない「セキュリティ照明市場」を構築することができました。最近では、ソニー損保様と共同でやさしい運転をするとか何か保険料が安くなる保険商品も開発しました。

**森** やさしい運転を計測できるようなして、それを保険商品にするというのはまったく新しい発想ですね。

**小林** 約10年ほど前、当社は加速度センサを応用し、ドライバークのスムーズな発進・停止、急発進・急ブレーキなど運転特性を判別できるドライブレコーダーを製品化しました。従来、急発進や



急ブレーキを検知することで注意喚起を行うのが一般的ですが、当社が着眼したのがスムーズな発進や停止をカウントし、ドライバーの良い運転を促進し、安全運転の意識づくりができることです。

センシングの精度もさることながら、こういう発想も受け入れられ、自動車保険への採用が決まったのです。これにより従来とは違う新しいビジネスモデルを作り上げることができました。森 なるほどニッチとはそういうことなんです。着眼点がすごいですね。

**小林** 事業を魚釣りに例えると、一流の竿つりざしや針や餌をもっている、魚がいないところに糸を垂れたって魚は釣れません。創業した当時、われわれは決して一流の道具をもっているわけではなくと認識していました。工学設計ができるといっても私は二流三流でした。一緒にやり始めた人も電気エンジニアとしては一流ではなかった。ですから自分たちももっているわずかな経営資源をうまく生かすために、人が目をつけていない市場にニッチを探すことが事業にはとても重要だったんです。

**森** お話を聞いてみると、無限に商品開発ができそうですね。

**小林** 商売になるかどうかは別にして、確かにいくらでも可能性はありますね。森 資本主義さえ崩壊しかなないような変化の多い時勢では、いままでの経営学はもう役に立ちません。経営について悩んでいる企業にとつて、無限の可能性があるという小林社長の発想は大きなヒントになると思いません。

「ああ、成安造形大学の関係するストローバイルハウスですね」 森氏



## 人生の糧は

若き日の苦悩にあり！

自分の充足感と多様性が大事

森 ここまでの会社になったのは小林

社長の計画通りなんですか？

**小林** いいえ、そうではないんですよ。遠赤外線の技術に目をつけたのが、人より少し早かったので事業がうまくいったんです。

「M・O・H通信に紹介されていた Cafe ネンリンに行きたいんですよ」 小林氏

私は大学を卒業して、最初の会社ではテーパーコーダーの設計をしていました。その後転職した小さな会社がセンサ会社だったんです。そこで初めて自分が設計したものを自分で営業したり、広告宣伝のカタログを作ったり、工場を探して作ってもらうように交渉したり、いろんな経験をさせてもらいました。製品が売れるようになる、自分の考えた製品が世の中に通用するんだという自信と喜びを得ることができました。ただ、そこでの人間関係がうまくいかなくて、自分たちが理想とする会社を作りたいという思いでスピンアウトしました。すでに結婚していて3人目の子どもができた頃でしたから、なんとしても食い扶持は稼がなくてはいけないと必死でしたよ。

**森** もともと事業を興そうと思っておられたわけではなかったんですか!?

**小林** ちょっと長い話になるかもしれませんが、学生時代はポート部に所属して瀬田川で練習をしていました。しかし工学部の学業と両立できず、悩んだ末に2回生でポートをやめました。





ところが3回生のとき、ボート部の仲間が全日本1位になってメキシコオリンピックに出場したんです。ものすごく悔しくて、氣力を失うほど落ちこみました。それまでは親の期待に応えてとか、いい大学に行つて、いい会社に勤めてと自分の人生を深く考えていなかったので、いいと初めて思えるようになりまして。そうしたら、自分に活力を与えてくれるようなドキドキワクワクするところがしたくなつた。例えば自転車で日本一周したいなとか、山谷さんやでしばらく暮らしてみようかなとか。

**森** それが今日の事業の源泉になつたわけですね。

**小林** そうです。森さんは「収入半分になつたら幸せ倍増」とよくおっしゃつておられますが、私もそれに近い考えです。お金ももちろん大好きですが、それでも学生時代に落ちこんだ経験から、お金や名声よりもっと大事なことは、いかに心の充足感を得るかだと思つています。

**森** 会社を非同族経営にするという発想は？

**小林** 自分が何をどれだけ築いたか、そのプロセスに喜びがあると思うんですよ。ですから、息子は自分の力でやりたいことをやつてくれたらいいと思つていました。私自身が自由な人生を歩むために会社を作っていますから、息子に既成の枠の中で生きろなんていえないんです。

**森** 私は逆に、親の会社を継いだので、次に申し送る責任があると感じていましたが…。

**小林** 多様性があるのが豊かな世の中だと思つてますよ。ですから、森さんのようなお考えの方や、私のような考えの人など選択の自由がいろいろある方がいい。ですので、森さんのお考えも素晴らしいと思います。

## 滋賀の文化、琵琶湖への思い

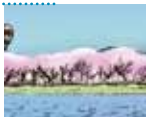
**森** 小林社長はFM滋賀や『みんなの滋賀新聞』を立ちあげたり、2013年から成安造形大学の理事長になら

れたり、滋賀の文化的な事業にもいろいろ関わつてこられましたね。

**小林** ラジオ局と新聞社は、もともとは滋賀の情報産業をみんなの力でなんとかしたい、滋賀を文化面でもっと盛りあげたいという思いからしたことでした。しかし、新聞社はうまくいかず、関係者の方々にも多大なご迷惑をおかけしてしまいました。成安造形大学の理事長は、論理よりも感性がより大事な時代になつてきたと感じていたので、それを育むことはいいことだと考えました。また、滋賀県唯一の芸術系大学において、これまでの私の経験がお役に立てればと考え引き受けることにしました。

**森** 環境学習のCSR(企業の社会的責任)もやつておられますよね？

**小林** カヌーやドラゴンボート、いかだづくり、ヨシ紙を使った笛づくりなどを組み合わせた1日体験学習をグループ会社のオーパルで企画運営しています。子どもたちが琵琶湖で遊んで琵琶湖を好きになつたら、琵琶湖を大事に思つてくれるんじゃないかなと考えて





本社棟 1 階にあるショールーム。センサの数々を時系列で見ることができる

オーバルでのカヌー教室。琵琶湖に子ども達はよく似合う



始めました。

森 子どもたちに琵琶湖を好きになつてもらおうという発想がすばらしい！

小林 私自身もオーパルのカヌーで琵琶湖一周を3回しています。カヌーは水面が周辺にありますから水が汚れているとよくわかるんですよ。今では、年間約1万5000人が本社前の琵琶湖でカヌーに乗ったりして琵琶湖の環境を学んでくれています。

## 自分を大事にすることが 社会を良くすることに つながる

小林 森さんは近江商人の「買い手よし、売り手よし、世間よし」の「三方よし」についてよくお話しされていますよね。実は、オプテックス流の三方よしというのがあるんですよ。

森 オプテックス流というのは、

小林 「己よし、相手よし、世間よし」と言い換えています。「己よし」の己は自社、「相手よし」の相手はお客様や仕入れ先はもちろん、競合他社も含んで

います。

三方よしとなるためには、他社とは違う製品を作ること、差別化が大切だと考えています。よそが新商品をだしたからうちも同じものをやらないと負けるとか、よそが値段を下げたからうちも値段を下げないといけないと考えていては、自社も競合も価格競争となり互いに疲弊してしまふ。これは「三方よし」に反していると思います。他と違う製品を出すことで、他社との不毛な価格競争にもならず、お客様も選べる製品が増える。そのような選択肢が多い状態、つまり多様性こそが豊かさであり、「世間よし」に通ずることだと考えています。

森 「己よし」が先なのがいいですね。

小林 われわれは「未来への創造集団」としてIFCSの快適生活に挑む」が経営理念なんですよ。IはIndividual自立した個人。FはFamily CはCompany SがSociety。

会社人間にならず、まず個人を大切にしよう。そして自分を取り巻く家族、会社、社会という順番で大事にしよう

琵琶湖にもっとも近い位置に建つ本社。琵琶湖を愛(め)でているようだ







社長室からは琵琶湖が一望できる。ニッチな着眼点をお持ちの両氏

と掲げています。個人や家族が幸せになれば、自然と会社や社会に貢献できると考えているからです。社会のお役に立つ、社会のためというものは当たり前であり、それをあえて前面に出していないのが特徴的かもしれません。

森 確かに、自分が楽しくなければ何事もうまくいきませんね。小林社長の経営者として、そして人としての生き方をうかがって、今日は元気をいただきました。ありがとうございます。

## 創造 小林徹

●こばやしとおる 1948年生まれ。1971年同志社大学工学部卒業。1979年オプテックス(株)設立、代表取締役就任。安全・安心・快適をキーワードに「社会にないものをつくる」「人のやっていないことをやる」ことを実践。2004年藍綬褒章受賞、滋賀県公安委員、成安造形大学理事長など。

## 勇氣凛々 いの壁を打ち破れ 森建司

●もりけんじ 1936年滋賀生まれ。滋賀県立長浜北高校卒業。新江州(株)取締役会長。滋賀経済同友会特別幹事、滋賀経済産業協会相談役など。

著書／『吃音はなある』遊タイム出版、『循環型社会入門』新風舎、『中小企業にしかない持続可能型社会の企業経営』サンライズ出版、『中小企業相談センター事件簿』サンライズ出版。





みかづき たいぞう

三日月 大造

滋賀県知事

ええとこ

Shi-Ga 夢をつかめ!

● 2014年7月、第52代嘉田由紀子知事から、「もったいない県政」のバトンを引き継ぎ、第53代三日月大造知事が誕生しました。44歳、妻と男児2名、女児1名のパパでもある若き知事ですが「攻める」「見える」「前向き」な県政運営を目指します。そこで、三日月知事のお人なりから探っていき、滋賀の未来をお聞きました。

■ 滋賀県庁知事室（大津市）

■ 2015年1月7日



## 生老病死をみつめて 政治の道へ

— 今日、滋賀県のみなさんが知りた  
がつておられる三日月知事の人となり  
を探りたいと思っております。まず、  
政治の道を志されたきっかけについて  
お話しいただけますか。

「JRに入社した翌年、阪神・淡路大  
震災が起こりました。当時は山口県岩  
国駅勤務でしたが、支援勤務を志願し  
て新長田駅・神戸駅勤務の後、運転手  
になりました。2人目の子どもの誕生  
と同時に父に癌が見つかり、父が61歳  
で亡くなるまで4年間闘病に寄り添い  
ました。大震災と父の闘病…亡くなる  
命と生まれてくる命を目の当たりにし  
て、人の命を誰がどう守っていくのか  
深く考えるようになりました。これが、  
松下政経塾へ入って政治の道を歩きた  
すきっかけでした」

— 若い時に生と死の狭間をみるという  
重い体験をされたのですね。

「はい。父が病床で応援してくれたこ

とで、政治家を志す決心ができました。  
これからも『生老病死』に感受性をもつ  
てやっていきたいと思っています」

— 知事が「難聴の対策で日本一の施設  
を整備したい」とテレビで語っておられ  
たのは、そういう思いからなんですね。

「毎年約1000人の聴力や聴覚に困  
難を持つ子どもが生まれています。ま  
た超高齢社会を迎え、難聴のお年寄り  
は増え続けています。これらの課題に  
対し、滋賀県が新型人工内耳や難聴治  
療薬等の研究・開発に向けて先進的に  
取り組もうと、守山の県立成人病セン  
ターを核とした聴覚コミュニケーション  
ン医療センターをつくる構想を進めて  
います。また、福祉の観点では、障がい  
のある子どもたちの福祉に一生を捧げ  
られた糸賀一雄先生の生誕から100  
年、『新しい福祉を滋賀からつくって  
いこう』をキャッチフレーズに進めてい  
きたいと考えています」

— 超高齢社会になるとニーズが増えて、  
産業おこしの可能性もあるのでは？

「老化による五感の衰えについては技  
術力で克服・補強するだけでなく、そ  
ういう方々でも暮らしやすい街づくり  
をしていきたい。鉄道員でしたのでパ  
リアフリーなども意識しながら、平成  
30～31年度にオープン予定の新生美術  
館においても誰もが行きやすいように、  
交通の便も含めて整備する計画を進め  
ているところです」

## 滋賀から 新しい豊かさを発信

— 知事として、これからどういう滋賀  
を目指されるのでしょうか？

「『新しい豊かさ』を大切にしたいと考  
えています。今だけ、物だけ、自分だけ  
の豊かさではなくて、すべての人が持  
続的に心で実感できる豊かさを滋賀か  
らつくっていきたい。これは『M・O・  
H通信』の考え方と共通していますよ  
ね。例えば、琵琶湖を守りながら経済  
活動をしていく取り組みなど、行政だ  
けでなく県民みんなの運動として『新  
しい豊かさを滋賀からつくろう運動』



を呼びかけています」

— これからは県政にも「経営感覚」を取り入れていくと年頭にお話しされていたのが印象的でした。

「松下幸之助氏は『政治は経営である。したがって政治家は経営者にならねばならない』『物心一如。心のともなわない物質的な豊かさだけでは荒廃する』と経営改革の必要性を説いていました。知事になって半年、独りよがりになっていないか、行政だけでやりすぎていないか、去年もやったから今年もやろうという意識がないか、これだけの人・お金・時間をかける必要が本当にあるのかという視点を常にもって仕事をしよう。県の職員に対してだけでなく、知事であり経営者である私自身への自戒の念もこめています」

— 強気でないこう、経営感覚を十分に踏まえた上でちゃんと出すところと抑えるところのメリハリをつけていこうという知事の発言には驚きました。

「確かに、みなさんから預かっている

税金だから大事にしないとイケない。ただ、それだけで行政改革を進めると、どうしても嫌々やっている感覚に陥ってしまふ。そこで、『攻めよう』『見えるようにしよう』『前向きで行政改革しよう』といったんです。これは経営改革なんだと。今年44歳になる若輩で、全国の知事の中でも3番目に若いんですよ。若くして知事という大切な仕事を担わせていただいている者として、高く構えるのではなく、みなさんと一緒にやる実践者でありたいと思っています」

## 循環型社会として 世界の先進地域を目指す

— 「女性力活性化」などの活動もいろいろされておられますね。

「JR時代に青年・女性委員長を務めて、女性が働く上での制度的な問題について取り組んでいました。ですから、滋賀では女性も男性も、とりわけ若い人が元気になってほしい。そのために、例えばスポーツでは、小学生か

ら高校生までのジュニアのトップアスリートを県で応援していきます」

— 滋賀県はフェンシングの太田雄貴さんやプロ野球選手など優れたスポーツ選手をおおぜい輩出していますね。

「そうです。実は私自身もスポーツに挑戦しようとしてフェンシングを始めました（笑）。昨年は『夢をつかめ！ 滋賀オーラスター少年野球教室』を開催して、滋賀県出身でプロ野球で活躍しているソフトバンクの松田宣浩選手、楽天の則本昂大選手、中日の小熊凌祐選手、巨人の奥村展征選手（現ヤクルト在籍）を招いて子どもたちに野球を教えるもらったんですよ。その際、近江米「みずかがみ」の親善大使をお願いしたところ、喜んで引き受けてもらえました」

— プロ野球選手に滋賀県をPRしてもらうのはいいですね！

「ただ単にスポーツだけを応援するのではなくて、スポーツから始めて滋賀の産業を応援していけたらと考えています。そこで、スポーツと関わりの深





## 〈未来へのラブコール — ②〉

い食べることに、おいしくて環境にやさしい近江米と連動させた取り組みをしていきたい。京都でPRしていた時、『おいしいですよ』だけでなく『琵琶湖を思い、農薬を半分以下にして環境にこだわって作ったんですよ』と説明すると、『それはいいね』と多くの方に買ってもらったんですね。ですから、消費者の嗜好を生産者に伝え、生産者もまた自信をもって作る。それが付加価値となつて生産者の所得につながる。こういう運動を生みだしていきたいです」

― 弊誌でも滋賀の地産地消を応援しようとして、なでしこファーマーズの「食hanna 咲かそう!」食について話す交流会」などのイベントを開催しています。生産者と消費者の距離を縮めて、消費者に滋賀県産のものを選択してもらいたい。そのための出合いの場になればと始めたことなんですよ。

「そういうことが、食の生産地である滋賀の力や価値を高めることにつながると思っています。食・福祉・エネルギー・治水・環境は『共生社会滋賀』、つま

りいい循環型社会をつくるためのキーワードになると思いますね。

工業製品の製造業でも、環境に配慮することで消費者に選択され評価されるようなつながりを構築していきたいと考えています。エネルギー政策においても、原発に依存しない新しいエネルギー社会を目指そう、そのために地域で生みだされるエネルギーをもっと増やしていこう、新しいエネルギー社会を滋賀から先進的につくっていこう。そういうメッセージを発信していきたいです。滋賀が世界の先進地域になる可能性があると、私は信じています」



「少子高齢化にも柔軟に対応したい」

― 子どもたちの環境学習のチャンスが多いのも滋賀の特徴ですね。

「滋賀県では小学4年生になると森林環境学習、5年生は湖上での環境学習を、さらに中学2年生が職業体験学習をします。うちの子どもも体験学習に行つて変わりましたよ。環境学習や働く体験を通して生きる力を養っていく、これは全国に例をみない誇るべき取り組みなので、もっと充実させたいです」

― もっと充実させるといふと？

「例えば、学習船『うみのこ』のリニューアルでは『エコシップ』の視点を取り入れて設計しているところですか」

**世界に、地元の人に、  
滋賀の「ええとこ」を  
伝えたい**

― さきほど親善大使のお話ができましたが、滋賀の魅力を広報するための何か新しいやり方をお考えですか？





「みずかがみはおいしいです」プロ野球選手のサイン入りポスター

「『滋賀から世界へ、世界から滋賀へ』という視点で、国内にとどまらず、海外メディアや海外からの旅行者とのコミュニケーションをもっと積極的にとって、滋賀の魅力伝えていきたいですね。滋賀には古くから街道があって、それぞれの関所・宿場ごとに特徴があります。それに、いろんな切り口で現代版の『ええとこ』もたくさんある。地元の方々にもその良さを知っていただいて、ええところをつないでけば観光産業も生まれてくると思います」

「今年は弊誌でも『滋賀のええとこ』を発信していきたいと思っています。」

「『M・O・日通信』の『もったいない・おかげさまで・ほどほどに』の精神は滋賀が生んだ、滋賀県民が大事にしてきた考え方のもの。それを冊子にまとめてメッセージとして発信されて

メッセージとして発信されているのはすばらしい取り組みだと思いますよ」

「新生美術館設計者選定プロポーザル第2次審査が公開されました。世界に誇る日本の建築家が揃ったステージは圧巻でした。新生美術館に期待しています。ありがとうございました。」

三省  
笑顔、ええとこ  
みかづきたいぞうり1971年生まれ。大津市立日吉台小学校・日吉中学校卒業、滋賀県立膳所高等学校卒業。中学、高等学校では生徒会長を務める。一橋大学経済学部卒業後、JR西日本に入社し、運転士や営業スタッフなどを経験。2002年に松下政経塾に入塾後、2003年衆議院議員初当選。(4期連続当選)国土交通副大臣などを経て、2014年7月第53代滋賀県知事に就任。



③ M・O・Hインタビューへ「社会」未来へのラブコール

住みやすさ

ナンバーワン都市 長浜へ



ふじい ゆうじ  
藤井勇治  
長浜市長

市役所の新庁舎が竣工し、何か新しいことが始まりそうな予感がする長浜市。新しい市役所のこと、そして「歴史と文化あふれるまち・長浜」を未来に向けていかにして活性化させていくのか、藤井勇治・長浜市長にお聞きしました。

- 長浜市役所(長浜市)
- 2015年1月20日



## 災害に強く環境にやさしい 新庁舎が完成

―長浜市役所の新庁舎が昨年12月に竣工しました。どういう経緯で建て替えられることになったのですか？

「5年前に1市8町が合併して新長浜市がスタートしたとき、老朽化した市役所庁舎を建て替え、12万都市となった新長浜市のシンボルとなり、合併後の行政推進の拠点にしようと新庁舎の建設計画を立ちあげました。市役所の建設は100年に一度の大事業です。議会や行政だけでなく、たくさんの方々の専門家のご意見もいただきながら基本コンセプトを取りまとめました」

―新庁舎の特徴はどこにあるのでしょうか？

「仮に震度6強の大地震が発生したとしても安心して使用でき、災害時には対策本部とすべく、防災機能を強化しています。設計図を描いている真っ最中に東日本大震災が発生したこと

① 広々とした空間に柔らかい自然光が差し込む ② 3階の市民ギャラリー ③ 新庁舎竣工式典にて藤井市長の挨拶 ④ 新庁舎竣工を祝うふるまい餅







防災機能を強化した設計。最上階から市内を見守る



東京藝術大学大学美術館で「観音の里の祈りとくらし展」を開催。長浜の観音文化に多くの関心が寄せられた



から、その教訓を生かし新庁舎の設計図を大幅に描き直しました。例えば、電力の送電が受けられなくなったときに備えた太陽光発電システムの導入、あるいは水道の遮断に備えた雨水活用装置の設置。また、高さ45メートルの防災塔からは市北部地域まで目視でき、塔内部にパラボラアンテナを備えることで、万が一、電話などの通信機能が失われても無線により情報交換できる充実した通信システムを完備しています」

「すっきりとしたモダンな建築は、吹き抜けの広々とした空間や自然光を取り入れた明るさが印象的です」

「決して豪華ではありませんが、簡素にして機能的、スペースも比較的ゆとりとっておりあります。いくら建物を立てたとしても中身が伴わないといけませんから、市民の皆さんに親しみや温かさを感じていただけるよう、職員一丸となって『おもてなしの心』で業務にあたっています」

### 歴史と文化を生かしつつ

### 長浜駅前は大規模リニューアル

「中心市街地の活性化は今後どのように進められるのでしょうか？」

「合併により滋賀県の6分の1の面積を占める広い長浜市となりました。このことから市の北部地域と南部地域を車の両輪として発展させることで、市全体の活性化につなげていきたいと考えています。」

この前提に立った上で、現在、長浜市の玄関口であり、また中心市街地活性化の鍵となる長浜駅周辺地域において再開発事業を推進しています。具体的には、この2月に駅前広場南側に平和堂の新店舗「モンテール」がオープンしました。元の平和堂移転後の区画についても関係権利者の皆さんにより組合が組織され、新たなまちづくりの基本構想がまとまりつつあります。また、長浜駅周辺に集合住宅を中心とした複合施設を整備する計画も進んでいます。京都・大阪の通勤圏である地の利を生かし、人口集積により活性化

を目指したいと考えています」

「『いざない湖北定住センター』の活動など、長浜市は田舎暮らしの支援もされていますね。」

「市北部地域では南部地域と比べて過疎化・高齢化がより進んでいます。一方で、昨年10月に国の重要文化的景観に指定された西浅井町菅浦の湖岸集落をはじめ、賤ヶ岳や余呉湖、木之本の旧北国街道の町並みなど、北部地域ならではの美しい自然と地域資産に恵まれていることなどから、それらを生かして北部地域の振興を図りたいと考えています。また、古民家をはじめとした空き家が増加していることから、地域の良さを知ってもらい、空き家を活用して他の地域から移り住んでもらおうという取り組みも進めています」

「昨年春に東京藝術大学大学美術館において『観音の里の祈りとくらし展』を開催されるなど、『観音の里 長浜』としても全国にPRされていますね。」

「市が確認しているだけでも、市内に





は約130軀を超える観音像があり、種類も豊富で古いものは奈良・平安時代までさかのぼるそうです。戦国の乱世の時代には、川や池、田んぼなどに観音像を沈め、住民たちが命がけで守ったという逸話は数知れずあります。

『観音さまにお守りいただいている』『観音さまをお守りさせていただいている』といった慈悲の心が今もなお脈々と受け継がれているのです。当然、観音像そのものも価値があつてすばらしいのですが、地域の人々の深い慈悲の心によって守り、受け継いできた『村の持ちの観音さま』であることこそ、他地域にはない、『観音の里 長浜』が全国に誇る素晴らしい観音文化です。先の東京での展覧会は大盛況であり、2週間で約2万人の方にお越しいただきました。これからも観音像の保存・伝承にしっかりと取り組むことはもちろん、海外へのプロモーションも展開し、『観音の里 長浜』のブランド力をより高めていきたいと思えます」

## 地産地消には感謝の心を

― 弊誌についてはどのような印象をお持ちですか？

「毎年『よばれやんせ湖北』を開催されたり、『M・O・H通信』を無料で配布されているのは普通ではなかなかできない社会奉仕活動だと思います。『よばれやんせ』という湖北特有の方言は、温かみがあつていい言葉ですよ。しかし、若い世代にはあまり受け継がれていないことが少し残念です」

― 「よばれやんせ湖北」や長浜商工会議所による「おもてなしの郷土食展」講習会」など、湖北の郷土食が最近注目されています。こうしたイベントは消費者にとっては郷土食を再発見し、生産者を知るチャンスであり、生産者にとっては消費者の声が直接聞けてPRする場でもあり、双方が出会える場になっていると感じています。こうした地産地消の取り組みについては、どうお考えですか？

「長浜は近江米の一大産地であり、色艶ともに素晴らしいです。近年、露地栽培やハウス栽培も盛んに行われるようになり、美味しい野菜や果物もたくさん生産されていることから、市としても地産地消や六次産業化を推進しています。

昨今は昔と比べて生産者と消費者のかかわりが希薄になっていっているのではないかと感じています。大事なのは消費者も生産者の苦勞を知ること、そして生産者も消費者に喜んでもらえる安心な農作物をできるだけ安くお届けすることだと思えます。お互いの思いやりや信頼関係を作っていくことが何より大切です。消費者と生産者がもう一度信頼関係を結ぶには、互いに『感謝する心』を持つことが必要であり、『よばれやんせ湖北』などの出合いの場が果たす役割はとても大きく、貴重な取り組みだと思えます」

## 行政が出会いのチャンス作り！

― 長浜の未来のために、どのような取







「住みやすさナンバー1を目指します」

り組みを考慮しておられますか？

「合併の効果を最大限あげていくためには、人口減少をいかに食い止めるのが最大の課題です。とりわけ若い世代の人たちの大都市圏への流出をいかにして食い止めるのか。最近では『消滅自治体』といった言葉が使われるほど、地方都市における人口減少傾向は全国的に大きな問題となっています。若い世代の人たちが長浜に住み着いて出産し、子育てをしながら幸せで豊かに暮らすことができるまちづくりをしつかり行わなければなりません。そこで早速、市役所一部局横断組織である『子

ども子育て支援・少子化対策推進本部』を立ちあげました。既存の考え方や枠にとらわれず、若い人たちを『出会い』から『結婚』、『出産』、さらには『子育て』や『教育』に至るまでトータルに支援することにより、『住みやすさナンバーワン都市 長浜』を実現できるよう、市長が先頭となって取り組んでいきます」

## 至誠通天 藤才勇治

●ふじいゆうじ 1950年2月滋賀県長浜市唐国町生まれ。1973年龍谷大学法学部卒業後、衆議院議員秘書となる。1996年自治大臣秘書官、2003年自由民主党元幹事長政策秘書、2005年衆議院議員を経て、2010年より長浜市長を務める（現在2期目）。座右の銘は「至誠通天（しせつてんてん）」。趣味は映画鑑賞、山歩き。





ストックホルム市のエコプロジェクト 住宅地開発(資源・水・エネルギーの域内循環)

#### ④ 寄稿く「社会」未来へのラブコール

# スウェーデンの社会づくり ～めざす未来の姿を描きながら～

はなだ まりこ  
花田 真理子

大阪産業大学大学院  
人間環境学研究科 教授

経済活動が安定していて働く場も増えている。なのに温室効果ガスの排出量は減っているという。子どもを育てる教育機関と保育環境が充実しており、余暇は家族と森林で楽しむ。老後の生活や健康は国が補償する。だから税金は高率だけど、国民は国を信頼し納得して納税する。でも、政治には目を光らせているから、投票率は8割以上。独自の産業が生まれ育ち、国民は自然の中で心豊かに暮らす。そんな不思議の国スウェーデンに学ぶ社会づくりの仕組みとは。



デカップリングを実現した  
北欧諸国

皆さんは、スウェーデンという国にどんなイメージを持っていらっしゃるでしょうか。「森と湖の国」「高福祉高負担（税金が高い）」「ノーベル賞授賞式の舞台」…いろいろと思いつかなくてきまずね。少し環境問題に詳しい方なら、「環境」と名がつく初めての国際会議「国連人間環境会議」がスウェーデンの首都ストックホルムで1972年に開催された事を思い出されるかもしれません。その時のスローガンは「Only One Earth」(かけがえない地球)でしたね。その後スウェーデンをはじめとする北欧各国は、なんと環境負荷の削減と経済成長の両立に成功しています(図1)。一般的に、経済が拡大すると環境負荷の増大がもれなくついてきてしまつ、と考えられていますが、では北欧諸国が両者の切り離し(デカップリング)を実現できたのはなぜでしょう。

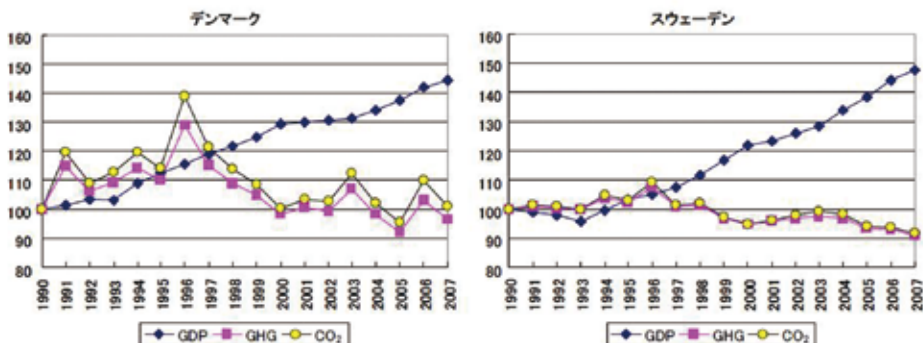


図1 デンマーク、スウェーデンの経済成長とCO2排出量の状況  
出典:環境省 地球温暖化対策に係る中長期ロードマップ検討会・エネルギー供給WG  
「低炭素社会づくりのためのエネルギー低炭素化に向けた提言」2010年3月

私は2014年8月、スウェーデンを訪れ、ストックホルム市の最新の環境負荷削減型大規模都市開発エコプロジエクトや、20年の歴史を持つエコヴィレッジ、近郊自治体や自然学校などの現地視察と関係者のヒアリング調査を行ってきました。そこで見えてきたのは、この国の社会づくりの進め方こそがデカップリングを実現し、いまや最先端のエコシティ構築のモデルとして全世界から多くの人や技術を引き付けるとともに、市民の豊かな暮らしを実現しているのだという事でした。そこで、スウェーデンが1992年の国連環境開発会議(地球サミット)以来進めてきた、人と環境の持続性を旨とする社会づくりについてご紹介したいと思います。

スウェーデン  
ビジョンをもって進む国

スウェーデンは地球サミット後、それまでの環境保護法(1969年)を見直して、自然保全法(1964年)、



農地管理法（1979年）など全15の環境関連法を統合した「環境法典」を1998年に制定されました。公害対策基本法（1967年）や自然環境保全法（1972年）の一部を吸収する形で1993年に環境基本法を制定した日本と、表面的には似ているように思えますが、ではどうして日本では実現できないデカップリングを成功させているのでしょうか。

それは、「あるべき未来の社会の姿」に向かって進むという大きなビジョンを持っているかどうかの違いではないかと考えます。スウェーデンでは2003年に、「持続可能な開発」が憲法に明記され、その後、「持続可能な開発戦略」の進行管理の評価として、「スウェーデンの環境目標は包括的なものであり、ユニークであり、かつこれらは政策的なコンセンサスに基づいた正当性があること」がはっきり示されました。これによって、各行政機関は自信を深めることになったようです。

こうした持続可能なまちづくりを進めた結果、ストックホルム市は20

ストックホルム市のエコヴェイレッジ(住民が自ら創り上げた暮らしのスタイル)





10年、EUが選ぶ初代環境首都賞を受賞しました。その際、最も評価されたのは、2050年までに化石燃料をゼロにする目標（化石燃料フリー）を掲げ、持続可能な発展を目指す包括的なビジョンに基づいて、市の予算・計画・報告・監視に部局横断的に環境の視点を組み込む統合的マネジメントシステムを持っている事でした。

例えば運輸部門では、先進的な混雑税制度の導入によって、自動車の使用が減り、公共交通機関の利用が増加してCO<sub>2</sub>排出が削減されます。ビジョンに基づいたこのような施策を総合的に進めることによって、ストックホルム市の一人当たりのCO<sub>2</sub>排出量は、1990年比マイナス25%を達成したのです。

スウェーデンは、国家が進むべき道として「生態学的に持続可能性を持った国として世界のモデルになる」というビジョンをはっきり打ち出しています。そしてそのビジョンに基づいて、ビジョンが現実化するための法制度を用意し、方向のはっきりした政策を实

施していく…これがバック・キャストイングと言われるスウェーデンのやり方です。

日本も東日本大震災という悲劇が経済成長追求型政策を見直し、真に豊かな社会のあり方を考える契機になってもよかったですのですが、現実にははっきりしたエネルギービジョンすら打ち出すことができません。また原発再稼働路線に戻ろうとしています。

### やれることから「ソツソツ」への健気な日本

自分たちが暮らす未来の社会を思い描くとき、そこに「こうあってほしい」「こういう社会でなければならぬ」というビジョンがあり、そのためにあらゆる施策や法制度が進められていく、というスウェーデンのシステムは、実は個人の努力をあまり頼りにしていないのではないかと思います。例えば、スウェーデンの最新の住宅地開発では、建物の入札時に、業者に徹底した省エネ建築を要求しますので、普

通に暮らしてもCO<sub>2</sub>排出量は国の目標のさらに半分にすることができるところです。建築物のエネルギー効率向上以外にも、交通オペレーション・システム（自転車と徒歩と公共交通の利用推進のために駐車場は2戸に1台分、駐車場は1戸に2・5台分）や廃棄物処理システム（生ごみからバイオガスをつくり、市バスで利用、スラッジは肥料に）などにより、地域として自然体で温室効果ガス排出削減ができてしまつ事になるのです。

日本では、京都議定書時代も、「チームマイナス6%」の掛け声のもと、「各主体の省エネ努力」に頼るところが非常に大きかったですね。日本人はまじめで勤勉で、何かに向かって一緒に努力しましょう、と言われると素直に頑張つてしまつ国民性があります。それが東日本大震災のような災害があればなおのこと、「絆！」「頑張ろう、東北！」と言って、自分たちの節電努力が社会貢献につながると思つて、せつせと省エネに励みます。節電、節水、ウォームビズにスーパークールビズ、



生ごみはもう一絞りして軽くしよう……  
こつした私たち一人一人の目ごころの心がけはもちろん本場に大切なことです。しかしその前に、国として、自治体としてやれることはないでしょうか。

例えばすべての新築ビルは徹底的に省エネ・創エネ・蓄エネを進めるよう厳しい基準を設けたり、公共交通の利便性を高めると同時に自動車使用の制限区域を設けるなど、社会インフラの環境効率化政策は効果が大きいのですが、残念ながらまだまだきわめて限定的です。環境に配慮しやすい、配慮が得になるような法制度の整備などもあまり進んでいないようです。特にそれが短期的にみて現在の経済活動の妨げになりそうなきときは、たとえ長い目で見れば新しい市場創出につながるような場合でも、なかなか取り組みは進みません。

何よりも日本で問題なのは、長期的なビジョンをコンセンサスとして持たないまま、今できる事をやりましようという現状追認の姿勢（IIフォア・キャスティング）です。それでも日本は頑

張っている、それは国が未来のビジョンを示さないのに、勤勉な企業や市民がコツコツと取り組んでいるおかげです。日々のエネルギーの使い方、こまめなスイッチ・オフや温度設定など、気の遣い方という点では、むしろ日本の方が熱心だと思います。私たちって、本当に健気ですよ。

### 社会インフラの効率化で デカップリングに成功する国 スウェーデン

スウェーデンでは、地方自治体が競って持続可能な低炭素・循環型・自然共生社会の実現に向けたインフラ整備を進めているようです。ストックホルム市の西110キロほどのところにある、スウェーデン第2の環境都市と言われるエスキルスティーナ

市では、1980年代初めには石油がほぼ100%の熱供給源でしたが、2002年に木質バイオマスチップや木くずを燃料とする発電・発熱供給のためのコージェネプラント（CHP）を

建設したことから、二酸化硫黄SO<sub>2</sub>とCO<sub>2</sub>を9割以上削減、二酸化窒素NO<sub>2</sub>を半減するとともに、多くの雇用が生まれたとのことでした。このプラントは市の中心部の地域暖房の90%を供給していますが、木質チップを利用しているのが、カーボン・ニュートラルです。こつしたCHPの導入はスウェーデン各地で見られるようで、電気と熱を同時に生成供給（電熱併給）できればエネルギー源の利用効率を最大化できるし、CHPの燃料を化石燃料から木質チップなどの再生可能エネルギー燃料に転換すれば、電力・熱供給量は維持しながらCO<sub>2</sub>排出量を一挙に大幅削減する事が可能だという担当者の説明には思わずうなりました。

廃棄物から生成するメタンガスを自動車燃料に換え、市バスの燃料に利用しているほか、一般車両も給油できるガス・ステーションが市バスターミナルのお隣にありました。また、下水処理場で一次処理された水は、40ヘクタールの広大な湿地でゆっくりと浄化されていきますが、そこは渡り鳥の基





1



3



2

① エスキルステューナ市の電熱併給コージェネプラント ② 廃棄物から生成したバイオガス・ステーション ③ 広大な湿地が広がる下水浄化施設

## 環境あつての 人の暮らし

地でもあり、可憐な野の草が楽しめる市民の憩いの場でもある生物多様性の宝庫でした。

高福祉社会と言われるスウェーデンには、人間を大切にできるだけでなく、人間の暮らしを支える環境を大切に、支えあつ、そんな考え方が根っこにあるように思われます。神野直彦先生の『分かち合いの経済学』（岩波新書）によれば、スウェーデン語の「社会サービス（福祉）」は「オムソーリ」、悲しみの分かち合い、という意味だそうです。スウェーデン人の背骨には「人道主義」が通っている、と話して下さったのは、今回のコーディネーター・高見幸子さん（ナチュラル・



ステップ・ジャパン代表)でした。福祉国家とは、支えあい国家であり、自然資源や社会資本の充実が根本になければ成り立ちません。その意味では、人間社会だけの持続可能性などあり得ないとして、天然資源なども含めた生態系全体の持続可能性を求めるスウェーデンの考え方は、至極当然のことではないでしょうか。翻って日本では、年金が世代間の争いとして議論されるというのは少し悲しくありませんか。持続可能性の根っこにある、世代を超えた思いやりが失われてしまっている気がしてなりません。資源多消費型の現代社会を生きる私たちには、少なくとも現状レベルの環境資源を後の世代に手渡す責任があるはず。そもそも豊かな環境が持続しなければ人間社会も持続できないことは、自然科学的な知見から見ても明らかなのですから。

## おかげさま、ほんまごう

最後に、M・O・H通信の読者の方

に興味深い話を一つ。スウェーデン大使館員だった環境ジャーナリストの小澤徳太郎さんによりますと、スウェーデン人が自分たちを語るとき、「森」とともに「ラゴムdaggen」という言葉が出るそうです。それは「ほどほどに」という意味だそうですよ！なんだかスウェーデンに住む人々の暮らしが急に身近に感じられてきませんか。

今回の視察では、人と人のつながりや人と自然のつながりを大切に暮らすし「おかげさま」ですね！を自分たちの手で実現していくのだという市民意識の高さも随所で感じました。なにしろ総選挙の投票率が8割を優に超すお国柄ですから。

また市の担当者のヒアリングでは、持続可能性の追求が行政の根幹にあり、「科学の知見が示していることを現実として受け止め、なすべきことをする」というプラグマティズムを強く感じました。「今当然やらなければいけない事をやっていくのが私たちのやり方」と胸を張る行政担当者（「持続可能性戦略官」という肩書がク

ル！）の言葉に感動を覚える一方で、やらない理由を探して動かさずしない日本の未来が心配になってきました。

日本とは様々な事情の異なるスウェーデンの社会づくりをそのまま真似すべきたとは思いませんが、バック・キャスティングの考え方や社会システムの整備から入る手法など、私たちが参考にしたい点は少なくないと感じました。これからの社会を考える上で、大きな宿題を戴いたと感じる今回のスウェーデン調査旅行でした。

(写真提供：花田眞理子)

## 和敬清寂 花田眞理子

●はなだまりこ 大阪産業大学大学院 人間環境学研究科教授。

さまざまな経済主体を、環境配慮に向けて動かすキーワードは「お得で楽しくスマートに」。経済学で仕組みを考え、行動科学で仕掛けながら、いきいきとした社会の実現をめざして、学生とともに楽しく活動しています。





⑤ 寄稿〈「社会」未来へのラブコール〉

# これからの 豊かさ社会とは

—「東近江市」を対象とした調査研究の結果—

ないとう まさあき  
内藤 正明

琵琶湖環境科学研究センター長

地域創生という言葉をよく耳にしますね。地域を創生するには何が必要なのでしょう？ハコものをつくるのか、啓発イベントか、はたまた新ジャンルのサービスか？？ 具体案に頭をひねっておられませんか？そのヒントが、滋賀県の東近江市にありました。

## 1. 持続可能社会を求めて

ここ何十年も持続可能社会という言葉が世界中で使われてきました。しかし、まだそれがどんな姿なのかは明確に定まったイメージはありません。最初にこの言葉が出てきたのは、地球温暖化への危惧からでした。それを止めるために石油消費を大きく削減した社会が持続可能社会とされました。そして、それを実現するための議論や様々な活動が、世界中でされてきましたが、いまだに目に見える変化はありません。

日本では、脱温暖化への取り組みが世界の中でも遅れていましたが、3・11の大震災で、これまでの「技術依存の豊かさの追求社会」から脱却して、自然と共生する安全・安心社会に転換すべきだとする意識が高まってきたことは確かです。そこで、地球環境の危機と同時に、地域の安全・安心に配慮した社会への転換が求められるようになってきました。しかし、この両方を同時に満たすことはできるのか、またこれと併せて経済的豊かさかどうか



調和させるか、というのがいまの難題です。

## 2. 滋賀からの変革

世界全体が持続可能にならないければなりません、世界を見ると国同士の利害の衝突で動こうとせませんし、日本でも近年改めて経済成長にまい進する中で、環境への関心は低下していません。ということなので、出来ることなら地方自治体とかコミュニティーのスケールで、特に滋賀県はその可能性が高いだろうと思われるので、研究対象として選定させてもらいました。

### 【滋賀県では】

我々の研究機関は、滋賀県と共に「温室効果ガス排出量半減（1990年比）の社会」の姿を描きました。具体的には、将来の人口と経済推計の下で、エネルギー、ライフスタイル、都市・交通など、技術と社会の両方を大きく変えて脱温暖化社会の構築を目指したものです。このビジョン実現のため、

め、「滋賀県低炭素社会実現のための行程表（平成23年1月）」と「滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例（平成24年4月）」が制定され、その条例に基づいて「滋賀県低炭素社会づくり推進計画（平成24年3月）」の策定が行われています。中でも、「行程表」は20年間の必要経費の試算額約1兆円の確保のため、全国知事会で嘉田知事（当時）による「新しい環境税の創設」の提案につながりました。しかしその後の、経済活性化と原発の停止もあって、これらの計画が必ずしも順調に進んでいるとはいえません。

### 【市のレベルでは】

県レベルで変わるにはまだ時間が掛かるので、もっと小さい市レベルの試行、特に国の「緑の分権改革」の対象となった東近江市の事例を見てみましょう。

東近江市は県の計画に沿った脱温暖化を前提にしながら、市民の望む「新たな豊かさ」を目指すと考えました。このためには、市民、事業者、行政な

どすべての人々が関わる必要があるもので、多くの市民が一同に会する「ひがしおうみ環境円卓会議」が平成22年にスタートし2年間にわたって密な議論が交わされました。

その内容は、①住みたい社会と、その実現に必要な取り組みを提言する。②それを参加者自ら整理し、一つのストーリーとする。③その分析から、市民の抱く豊かさのイメージを抽出し、それを実現する要素を整理する。④それを指標化し、「社会経済モデル」に組み込み計算する。

ここで特に工夫したのは、③の段階で、市民の望む社会を表す言葉から、その「豊かさ指標」を見出す作業でした。それは皆の発言の中に出た「言葉の関係性」を分析する「共起ネットワーク分析」という手法を用いたものです。その結果を図1に示します。

「地元」「人」「仕事」という単語がネットワークの二つの中心で、「市内」「近く」「働く」「増える」「山」「畑」など多くの単語と繋がり、特に「仕事」と「家庭」「子育て」がお互い



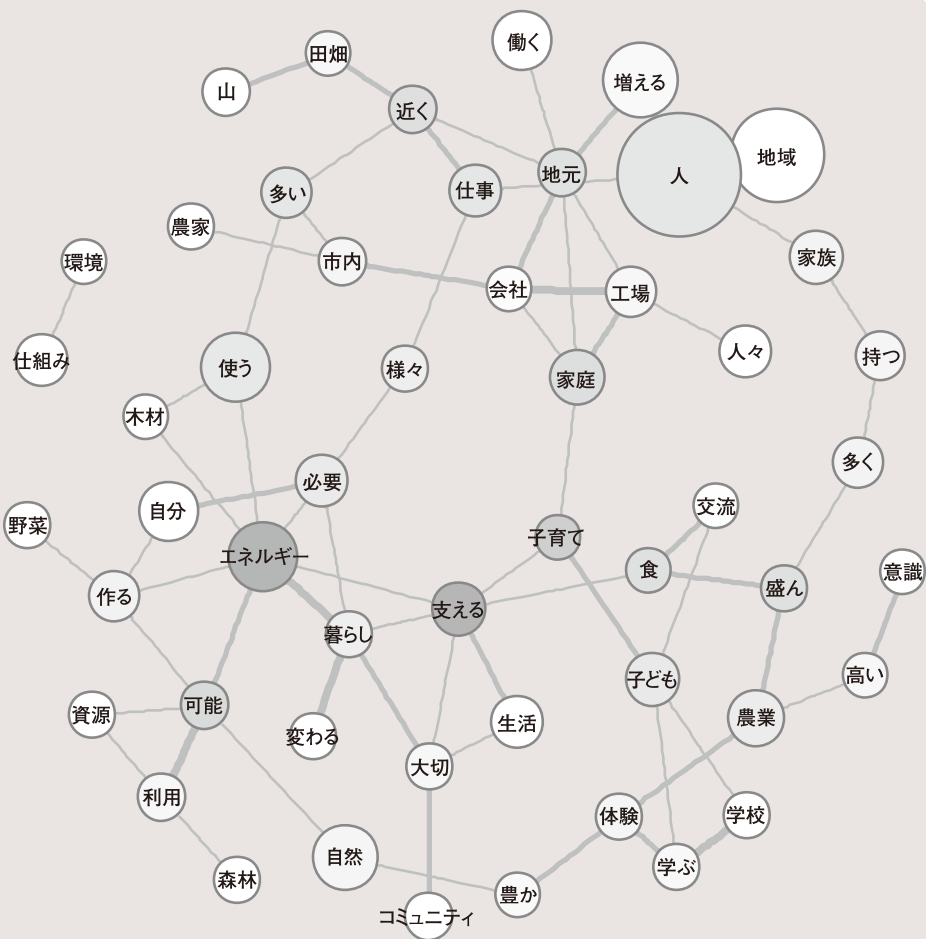


図-1 共起ネットワーク分析の結果  
 (記号・円の大きさ：単語の出現数、濃い色：ネットワーク中心、リンクの太さ：共起関係の強さ)

繋がっています。さらに、その「家庭」「子育て」は「家族」「多く」「交流」「持つ」とも繋がっています。

このような結果から、参加者らが望ましいとする東近江市の将来社会は、たとえば農業の六次産業化、コミュニティ内での子育て・教育・福祉とそこからの仕事の創出などです。また、「近所付き合い、三世代同居や家族団らん」などが、結果的に「エネルギー使用の削減」にも役立つことが想定されました。

また、「エネルギー」「暮らし」「支える」という単語が



中心となって、「野菜」「木材」「森林」「資源」などの単語とつながり、「自然」という単語は「体験」「農業」「子ども」「学ぶ」「子育て」「食」などの単語とも繋がっています。これは、エネルギーや食料など地域内で得られるものは、極力その恵みで生活する。そのことが地域の農林水産業の拡大に繋がり、また地域の自然はただ保護だけでなく、教育・体験の場としての活用も市民は望んでいます。

このような豊かな社会は、「地域経済指標」である、市内全産業の「地域内自給額」が2000年の3,548億9,300万円から、2030年には4,273億5,500万円(約20%)増加し、「脱温暖化指標」の二酸化炭素排出量の削減は、2000年比で合計55%の排出量削減のうち、市民らの望む社会変革に由来する分が22%に相当すると推計されました。この市民会議によって提案された「目指す東近江市の姿」は、「地域の自律」、「社会サービスの内部化」、「自然とのかかわり」を重視した「新たな豊かさ」社会であると同時

に、「地域経済」と「環境負荷削減」を相当程度、達成できるものであることが推計で明らかになりました。

なお、この円卓会議の参加者は自ら地域内のキーパーソンであることから、そのビジョンの実現に向けた様々な実践がなされました。その代表例は、障がい者の働く「ならではの働き実践施設」、要介護者とその家族の暮らしを支援する「応援拠点施設」、地域の素材でお母さんが作る「福祉支援型農家レストラン」を一ヶ所に集めた『あいとうふくしモール』が、平成25年度に発足しています。これは、地域で安心して暮らせる拠点づくりの融合施設で、「食糧・エネルギー・ケアの地域内自立」を目標にした社会変革の第一歩といえますよ。

※本論は、金再奎、岩川貴志、内藤正明「市民意識の定量化に基づく持続可能社会の将来像の描出とその実現ロードマップ」(環境科学会誌、印刷中)から引用。

## 知足 内藤 正明

● ないとうまさあき 1939年大阪府生まれ。1962年京都大学工学部卒業。1969年同工学博士、1974年国立環境研究所主任研究員、1990年同統括研究部長、1995年京都大学工学研究科教授、2002年同大学院地球環境学学長。

現職／佛教大学社会学部教授、琵琶湖環境科学研究センター長、京都大学名誉教授、(NPO)循環共生社会システム研究所・代表理事、(NPO)KES環境機構・代表理事、他。

著書／「持続可能な社会システム」、「地球環境と科学技術」岩波講座など。活動／持続可能社会の理念と実現方法に向けた研究およびその実践活動。







滋賀県東近江市紅葉尾(ゆずりお)町。東近江市といなべ市をつなぐ421号線が八風街道とよばれる

## ⑥ 寄稿く「社会」未来へのラブコールく

# あした はっふう 未来へ続く八風街道

みさと  
美里 けんじ

脚本・演出・構成

近江（滋賀県東近江市）と伊勢（三重県いなべ市）は鈴鹿山脈をはさんで隣接しています。トンネルや道路がもたらす交流は、住民の間につながりを作りました。伊勢の美里けんじさんからのメッセージをお届けします。



## 道は未知なり

幾つもの道がある。しかもその道には「分岐点」がある。予測もしない「道」が突然現れたり、忽然と消えたりする。人は岐路に立たされた場合、どの道を選択すべきか迷う。道を選ぶのは自由であるが故に、迷う。ポンと背中を押す「何か」があれば良いが、それだつて「こんな筈では…」何かの弾みでその道を選択する場合が往々にしてある。道は単に人や「モノ」が通るだけではない。様々の情報や文化、歴史を運んでいる。

## 八風街道

江戸時代、徳川幕府によって日本各地に街道網が整備された。伊勢国北勢地方では東海道五十三次と参道街道の他に「八風街道」が早くから整備されていた。江戸時代の「八風街道」は桑名藩領朝明郡富田一色村(三重県四日市市富田一色)を起点とし、菰野町田光を経て八風峠(標高926m)に続く

「本街道」、桑名↗馬道↘大社↗梅戸↘田光↗八風峠に至る「脇街道」の二つの道があった。脇街道は京都から桑名・尾張への近道だったので本街道よりも通行量は多かったという。

八風街道は更に延長されて近江八幡市(中山道武佐宿)まで続く。この道を滋賀県側は「八風街道」と称し、三重県側は「八風道」と言った。これは明治19年に三重県にも「国道・県道・里道」が制定され、八風道は里道に指定されて以来のこと。(因みに里道と言うのは、道路法の適用のない法定外の公共物らしい。公園上、里道は、赤色で着色することが義務付けられている。その為「里道」は赤道とも称されるという)。

ところで、よほど差し迫ったコトがない限り、脇目も振らず目的地向かうより、脇道へ逸れてみるのが楽しい。人生の「道」も同じこと。

特に私は「脇道」や「回り道」が大好きである！その為に随分と遠回りをした。否、今もなお、目的地に辿り着けず右往左往している。しかし回り道



石樽トンネル

の「利点」もあるから楽しい。他の人が見たコトのない、珍しい風景を眺めることができた。

少し前まで滋賀県と三重県の県境にある石樽峠を越える国道421号線は、別名「酷道」と称されるほどの劣悪道で、2t以上の車の通行を阻止する為に、峠に大きなコンクリート製の関所があった。何とか関所を通過してホッとするのも束の間。ドライバーはその後も、車のすれ違いに肝を冷やし続けなければならなかった。

ドライバー泣かせの「酷道421号」

	買い物	観光	その他
東近江市	46%	37%	17%
三重県いなべ市	7%	89%	4%

石樽トンネルの利用目的についてのアンケート

石樽トンネルの開通により、滋賀県東近江と三重県いなべ市が繋がり、人や地域の連携や交流が始まった。石樽トンネルの利用目的についてのアンケートには左記のような答が得られたとある。

地域づくりと  
コミュニケーション

の「酷」の字が抹消されることになった。標高690mの石樽峠の中腹をくり抜いてトンネルでバイパスする工事が2006年5月に始まり、2011年3月26日に延長4158mの「石樽トンネル」が完成！

八風吹けど動ぜず

近江の民は「トンネルを抜けて買物に！」一方、伊勢の民は「トンネルを抜けて観光（紅葉見物）」に行く。何たつて天下にその名を知られた「永源寺」は勿論のこと、そして少し足を伸ばせば「西明寺」「金剛輪寺」そして聖徳太子発願による「百済寺」、いずれも天台宗の古刹へと続く。

八風街道の「八風」とは四順（人が求める四つの利益）順番に

①「利」意に適う利益、②「誉」名誉を授受すること、③「称」称賛されること、④「楽」心身を喜ばすこと。

そして四違（人が避けたい四つ）、①「衰」意に反する損失、②「毀」陰で不名誉を受けること、③「譏」中傷されること、④「苦」心身を悩ます苦しみ等。

私たちは好むと好まざるに関わらずストレス社会で生きている。知らず知らずのうちに傷つけ合って生きている。今日も社会に吹き荒ぶ風は自分に都合

の良い「風」ばかりではない。心の動揺を抑え、世知辛い浮世を前向きに生きて行こうっ？自分にはとても、実践できそうにもない「重くて、大きな課題」を後部座席に載せて私は今、石樽トンネルを抜けて東近江市蛭谷へと走っている。

すべて始めは、白紙です。  
描くのは、自分です。  
美里けんじ

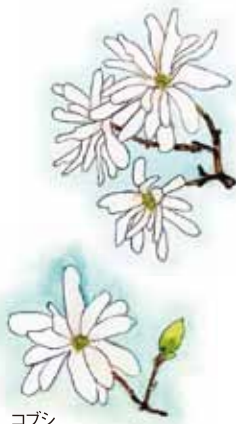
●みさとけんじ=高知県出身、7月10日生まれ、AB型。四国電力→救急病院レントゲン技師を勤めた後、文芸の道へ進む。東京アクターズスクール専任講師、ステージ司会者、脚本家、夢探し請負業。趣味はカラーの夢を見ること。



# 節分草の咲く村

三山 元暁

さし絵: 中川 善雄



コブシ

三月という月は、気難しい季節である。「春近し」と感じたり、「春遠し」と感じたり、冬と春とが綱引きをしているような月である。ときには、はげしい吹雪に見舞われるような日があるかと思うと、セーターを着てはいられない暖かい日がやってくる。このように

気難しい季節ではあるが、私の住む山里にも春の足音が聞こえ、どこことなく心が安らぐ。

伊吹山の雪がとけはじめる  
と、山あいでは、いち早くマ  
ンサクヤダンコウバイの花が  
咲き、あちこちを黄や淡黄色  
に染める。やがてタムシバや  
コブシが点々と白い花を咲か

せ、山峡は春の光を浴びて明るく、はなやいでくる。

タムシバとコブシは、花が似ていて確かに一寸見には区別がつかない。見分けのポイントは、花の下にびらっと黄緑色の一枚葉があるのがコブシ。タムシバにはなく、花にほのかな芳香があるので分かる。

まんさくに山の明るさ

貫ひけり 船水ゆき

山肌やまはだに孤高ここうの白は

辛夷しんいかな

姉川上流の村では、山の斜面にセツブンソウが見事な群落をつくり、可憐な花を咲かせる。暦日どおり、節分に咲くことはまずない。雪の残る大地から芽を出し、桃の節句

のころ、細かく切れ込んだ小さな葉をあげ、真っ白な五弁の花を開く。春の女神にふさわしい気品を漂わせながら。

節分草そは神々の

イヤリング 村上ヨ子

セツブンソウからやや離れたところに、春の妖精とも呼ばれるキバナノアマナが、小さな星のような黄色の花をひっそりと咲かせている。花ことは「運が向いてくる」。セツブンソウとともに、ぜひ出逢ってほしい花である。

## 三山 元暁

●みやまもとあき11940年滋賀県坂田郡山東町(現・米原市)生まれ。長浜市の理事・経済部長を経て1995年8月から2005年2月まで山東町長。同月14日米原市との合併にもない退任。真宗大谷派真勝寺前住職。

悠々自適

中川 善雄

●なかがわ よしお11936年生まれ。滋賀県展、長浜市展、伊吹を描く絵画展などに入賞、入選歴多数あり。税理士。



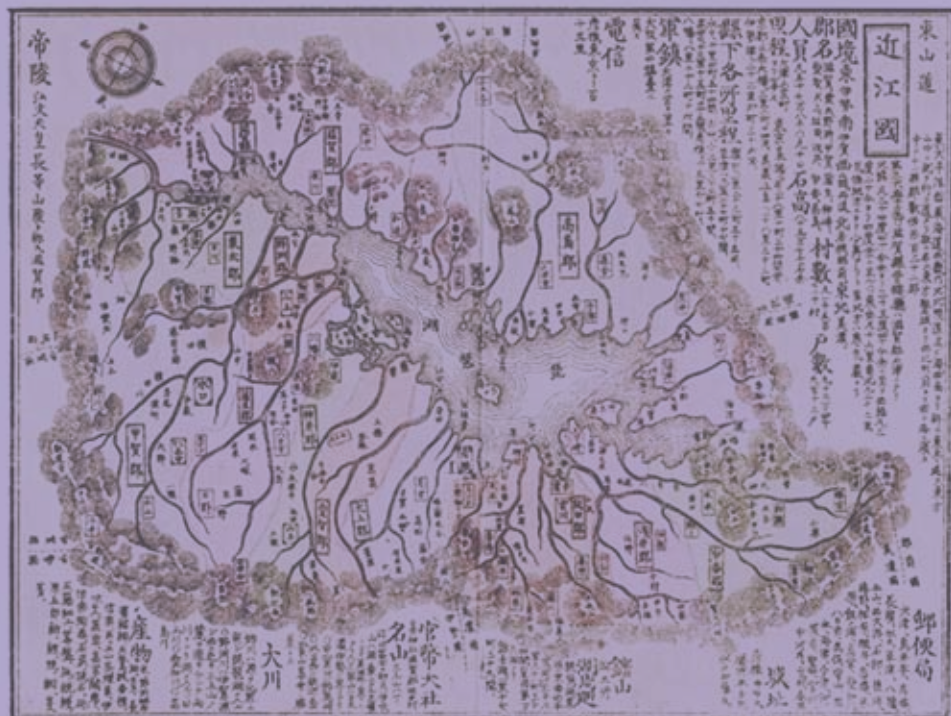


# しがのええもん 五十三次 ～おいしいもの編～

「しがのええもん五十三次」勝手に選定委員会

「滋賀って何があるの?」よく聞く質問です。たくさんありすぎて一言では表現できません。そこで「しがのええもん五十三次」勝手に選定委員会さんをお願いしました。

サイコロ片手に、遊んで行ってみてください。



## 前口上

琵琶湖をはじめ自然が豊かな滋賀は、歴史と伝統に裏打ちされた郷土色に恵まれてい  
る。豊富な食材を生かした新しい名物が次々  
に誕生しており、おいしいものの宝庫です。近江国  
を縦横に巡る街道にちなみ、「しがのええもん」おい  
しいもの編」と称して、紙面食べ歩きとしゃれこみ  
ましよう。

## 湖北

### 1 ニジマス(醒井養鱒場)

日本で最も歴史あるマス  
類の養殖施設である醒井  
養鱒場では、ニジマスの刺  
身、フライ、姿ずしなど様々  
な形で堪能することができます。

### 2 「湖北のおはなし」 (井筒屋)

竹すだれの器を唐草模様  
の風呂敷で包んだ中に、  
季節ごとのおこわと鴨肉、  
えび豆、赤かぶなど郷土の  
味が満載の鉄道のまち米  
原の人気駅弁です。

### 3 伊吹大根 (トレッシング)

伊吹山の麓の伝統野菜。  
葉と首の間が赤紫色を帯  
び、根は太短く、先が鼠の  
尾のようなので「ねずみ大  
根」とも。普通の青首大根  
の2倍ともいわれる辛味  
が最大の特徴です。

### 4 赤丸かぶ

米原が主な生産地で、非  
常に固く、よく締まった肉  
質と歯ごたえが特徴。漬  
物にすると全体がきれいな  
ピンク色になります。果  
物に似た甘味があり、サ  
ラダの彩りにも。

### 5 とりやさいみそ (びわこ食堂)

たくさんの野菜や果物、ス  
ライスで作られた「とりや  
さいみそ」は、手軽におい  
しい鍋料理ができる便利  
な調味料。山盛りの鶏も  
も肉と野菜をグツグツと  
煮込むと完成です。

### 6 「七本鎗」(富田酒造)

江戸時代から続く酒蔵か  
ら醸し出される名酒は、  
味わい深く切れの良い辛  
口。かの北大路魯山人も  
愛好したとか。近くには  
名にちなむ賤ヶ岳の古戦  
場があります。

### 7 桑酒(山路酒造)

琴糸など絹糸の生産がさ  
かんだった木之本では広  
く桑が栽培されており、  
甘く香ばしい桑酒も特産  
となっています。瓢箪や徳  
利型の器も味わいがあり  
ます。

### 8 イワトコナマズの じゅんじゅん

ナマズの中でもなかなか獲れないイワ  
トコナマズは臭みがないたため、刺身でも  
美味。じゅんじゅん(すき焼き)でいた  
だくのは絶品。「じゅんじゅん」というの  
は食材を煮込む音からと言われています。



12 鴨鍋

青くびといわれる天然の真鴨を使った長浜の冬を代表する味覚です。ネギやセリなどと煮込めば心も体もホカホカになります。

13 のつべうどん  
(茂美志や)

県内きつての観光地、黒壁で味わえる長浜名物で、大きなしいたげが印象的なあんかけうどん。近江牛のしゃぶしゃぶ肉が丸々1枚のつた豪華版もあります。

19 高島とんちゃん

滋賀県高島市のご当地B級グルメ。鶏を甘めの味噌ダレまたは醤油ダレで味付けしたもので、高島では戦後から地元で愛されてきた料理です。

11 (焼)鯖そうめん

湖北地方に伝わる郷土料理。鯖素麺(さばそうめん)とも呼ばれ、若狭から運ばれてきた鯖のうまみと甘い煮汁がそうめんにしみた一品です。

14 イタリアン焼きそば、ホワイト餃子(系しん)

焼きそばに特製ミートソースをかけた「イタリアン焼きそば」。具も肉厚の皮も全て手作りの「ホワイト餃子」は、長浜っ子にとって懐かしい味です。

18 アドベリー

主産国のニュージーランドの協力で高島の特産品に。収穫からの賞味期限が2日ほどと短く、日本ではほとんど栽培されていません。ジャム、ケーキ、酢など加工品は多数。

10 サラダパン  
(つるやパン)

マヨネーズで和えた刻みたくあんをコッペパンに挟んだ惣菜パン。木之本のお店で買えるほか、平和堂の一部店舗やネット通販などでも購入可。グッズもあります。

湖西

17 万木かぶら

高島市安曇川町万木地区在来の赤かぶで、滋賀県を代表する赤かぶの一つ。漬け込むと中まで紅色に染まり、色鮮やかなお漬物に仕上がります。

9 ビワマス

「琵琶湖の宝石」といわれる固有種で、上品な脂がのっており、刺身や塩焼き、棒寿司などさまざまな形で味わうことができます。

15 淡海酢

滋賀県唯一の酢醸造場で昔ながらの製法でじっくり作られています。伝統的な「淡海昔(おうみせき)」のほか、ハーブやアドベリーを使ったビネガーもあります。

16 鮒ずし懐石  
(湖里庵)

湖里庵(こりあん)は作家遠藤周作の命名。共和え、揚げ物、定番のお茶漬けなど極上の鮒ずしのフルコースを趣のあるお座敷で堪能できます。



20

## 南極堂の大判焼き

見た目はいびつですが、手作りの温かさを感じる大判焼き。粒あんがぎゅっしり入り、食べるといつもホッとする味です。種類は粒あんのみ。



26

## 「あも」(叶匠壽庵)

じっくり炊き上げた小豆で求肥を包んだ極上の棹菓子で、厳選された素材と惜しまない手間ひまが、飾らない姿ながらお土産としても定番になっています。

25

## 菜の花漬

鮮やかな黄金色と乳酸発酵の香りが特徴です。満開の菜の花の穂先だけを摘み取り、半年以上漬け込みます。菜種油の生産がさかんだった大津市田上(たなかみ)の特産です。

21

ブルーベリージャム  
(紀伊国屋)

無農薬・無化学肥料・無除草剤にこだわった有機栽培で育ったブルーベリーのジャムは安全で美味。おいしい食事のほか、摘み取り体験もできます。

24

## 菊花料理

大津市坂本で栽培される食用菊は古くは『延喜式』に記述がある伝統食材です。西教寺では、おひたし、すし、てんぷらなどその歯ざわりと香りはフルコースで味わえます。

22

## 近江しゃも

雄は軍鶏(しゃも)独特のコリコリした食感があり、雌は雄より柔らかく、脂のついているのが魅力です。おすすめのお食べ方は、水炊き、すき焼き。

23

## 月鍋(比良山荘)

大津市葛川の趣ある店で薄く切った熊の肉をすき焼き風でいただく月鍋は全国にファンも多い絶品です。他に猪鍋、夏にはアユが名物。

27

## しじみごはん

琵琶湖の固有種セタンジミは縄文時代から食べられていたことが貝塚などからわかります。しじみのうまみがたっぷりしみこんだ炊き込みごはんは絶品の郷土料理です。

28

## 近江ちゃんぽん

滋賀県民のソウルフードともいわれる「近江ちゃんぽん」。定義は、たつぷりの野菜、味わい深い和風のスープ、中華めんを使用すること。2月にはカップ麺も販売が始まりました。

29

## 糸切り餅

来襲した蒙古軍が壊滅したことを祝い、蒙古軍旗の青赤の線を描き、弓の弦で切って神前に供えたのが始まりといわれているお多賀さん(多賀大社)の名物です。

## 湖東





32

## とよ坊かぼちゃん

手のひらサイズの扱いやすく、栄養価も高い優れたものかぼちゃです。羊羹やどら焼きとともにプリンが絶品で、首都圏をはじめ県外にも出荷されています。



31

「つやこ」フロアマジュー  
（スイーツショップ湖華舞）

期間限定でJAL（日本航空）ファーストクラスの機内食に提供されたり（今回で2度目）、「JAPAN CHEESE AWARD'14」で金賞を受賞したり、定評のチーズです。

33

秦庄の山芋  
はたしょう

特徴は、何ととってもその粘り。すりおろせば箸で持ちあがるほどです。お伊勢参りの土産に持ち帰った伊勢の山芋が改良され、現在の姿になりました。

30

## 多賀にんじん

切り口から水がしたたるほどフレッシュな多賀にんじんは雪が降るとさらに甘みが増します。生でスティック柿のような食感でサラダにするといくらでも食べられます。



34

日野菜  
ひのな

辛味と苦みをほど良く含んだ味わいが特徴で、原産の日野菜は特に風味が豊かです。定番の漬物以外に、最近では彩りを活かし、早どり丸ごと和洋の食材に活用されています。



37

## むべ

アケビの一種で果肉はとろみのある半透明です。10月～11月ごろには「むべ狩り」ができる場所もあり、「むべ酒」「むべかき餅」「むべ御飴」などの加工品も。不老長寿の霊果として毎年皇室に献上されています。



36

「湖のくに生チーズケーキ」  
（工房chou-chou）

滋賀の6つの酒蔵の酒粕を使った生チーズケーキは各酒蔵の利き猪口で味わうことさらに楽しさが増します。「世界に通用する究極のお土産2013」にも洋菓子で唯一選ばれました。

35

## 懐石（招福楼）

県内屈指のお料理、器、空間が味わえる、一度は訪れたい東近江の名店です。東京と軽井沢（期間限定）にもお店があります。



### 38 北之庄菜

近江八幡唯一の伝統野菜で、葉は全体が緑色で莖と葉脈は濃い赤紫です。ほのかな甘みとほろ苦さが特徴で、炒め物で特にその味わいが生かされます。

### 39 赤こんにやく

近江八幡ではこんにやくといえは赤いというほど地元ではおなじみですが、全国的にはかなりキヤラが立っている存在です。派手好みの信長に由来するという説も。

### 40 バームクーヘン (クラブハリエン)

滋賀のみならず東京、大阪の売場でも行列ができるほどの定番ですが、焼きたてはまた格別のおいしさです。今年一月にオープンしたラ・コリーナ近江八幡でも味わえます。

## 湖南

### 44 杉谷なす

甲賀市甲南町の杉谷地区で江戸時代から栽培されていた伝統野菜で、古くから、なぜか杉谷地区でしか育たないといわれており、事実、近隣に同じものは存在していません。

### 43 杉谷とうがらし

甲賀市甲南町の杉谷地区で江戸時代から栽培されていた伝統野菜。先がぐにやりと曲がった姿が個性的。果皮がとても薄く、生でもおいしく食べられます。

### 42 蟹が坂飴

鈴鹿山麓で悪さをしていた巨大な蟹が僧の教えで改心し、砕け散った時の血が飴になったとのいわれがあり、「東海道名所記」にも載る、素朴な飴です。

### 41 鮎河菜

甲賀市土山町鮎河集落だけで平安時代から栽培される伝統野菜です。3月中旬〜4月上旬にJA甲賀の直売所花野果市、「道の駅」あいの土山で販売されます。

### 45 近江茶

日本茶は最澄が唐から持ち帰ったのが始まりと言われ、県内には土山、朝宮など茶処があります。ジャムやお菓子など加工品も含め、ブランド化が進んでいます。

### 46 水口かんぴょう

水口はかんぴょうの発祥地とも言われ、広重の「東海道五十次」にも描かれ、甘く柔らかいのが特徴。国内産の98%が栃木産と言われる中で貴重な存在です。



### 47 弥平とうがらし

湖南市下田地区に伝わり、漬物などに使われていましたが、最近ではホットチリソースやホワイトブラウニーなどの商品も開発され一気に注目度がアップ。





51

## 愛彩菜

鮮やかな緑の葉を象徴するような「愛彩菜」という名前は、わさび菜を草津の特産品にしようと付けられた愛称で、ピリッとした辛みが特徴です。

52

## あおばなソフトクリーム

草津市の花でもある青花は、全国でもここしか栽培されていないそうです。古くから友禅の染料に使われてきましたが、血糖値の上昇を抑える効果もあるとのこと、食材としても注目されています。

50

## 山田ねずみ大根

お尻が少し膨らみ、長い根がねずみに似ているところから名付けられました。草津市北山田地区に古くから伝わる野菜です。

53

## 「うばがもち」

浮世絵にも描かれる宿場町草津の名物餅で「瀬田へ廻ろうか矢橋へ下ろか 此処が思案のうばがもち」など数々歌にも詠まれています。上にのった白餡は昔は白砂糖だったとか。



49

## たでうどん

古くから寿司に使われていたヤナギタデを野洲の名物づくりに活用しようと開発されました。ピリッとした辛みが特徴で消化を助ける働きもあるようです。

48

## 下田なす

湖南市下田地区で明治時代以前から栽培されている在来種で、形は小ぶりですが6〜7センチ程度の卵形。色は薄紫色で、ガクの下にくっきりした白い線が特徴です。

## 後口上

いかがでしたか。滋賀県はパーセント県ともいわれる小さな県ですが、地域によって、気候も文化も異なり、食もバラエティーに富んでいますね。これからの自然が美しい季節、この『M・O・H通信』を片手に、食のビワイチに出かけてみませんか？

※1パーセント県…人口、面積など滋賀県が全国に占める割合がほぼ1パーセントに当たることをさす。

※ビワイチ…自転車、徒歩、自動車などで楽しみながら琵琶湖を一周巡ること。

●しがのえもん五十三次勝手に編集委員会「古くからの交通の要衝で東海道、中山道、北国街道など県内にたくさんはりめぐらされている街道にちなみ、滋賀県内のおいしいもの、素晴らしいものを自己流で選び、紹介する滋賀大好き集団。



# 第4回よばれやんせ湖北2014

## 「よばれやんせ弁当」メニューと生産者のご紹介



2014年11月23日に開催された「第4回よばれやんせ湖北」は、生産者と消費者をつなぎ、地産地消を応援するイベントとして大盛況に終わりました。46号でその模様をお伝えしましたが、今回は湖北のおいしいがいっぱい詰まった「よばれやんせ弁当」の中身をご紹介します。気になる料理はありますか？ ぜひ生産者さんとおつきあってください。

たっぷりと湖北の大地と人のつながりを味わえまし

**「よばれやんせ弁当」**

湖北の伝統食のおいしさは、地元で採れる新鮮な食材を、何世代も人々の手を通して練り上げられてきた確かな技術と知恵で、調理されることにより、代々受け継がれてきた料理文化を、現代のみなさままで伝えていく「命の食」。この食事は「食文化」における食のあり方を追求してきて、その中で、滋養湖北の味をいかに大切にしたいと、バスタードまでいくための努力を怠りません。いかに大切にしたいと、つくり出すだけでなく、食べ方をも含めて、食で伝えていくことが大事です。「よばれやんせ弁当」は、それらを盛り込んだ新しい舞台になっています。

**「よばれやんせ弁当」の味前！**

山カブドレッシング  
野菜サラダ(ツブナ、パプリカ)  
イチゴ

唐辛子みそ大根  
じみじもつ

白菜たみ漬け  
高月丸なす塩タリ

焼鯖そうめん  
えび豆

名代草餅

BIWAMASU  
KAMABOKO  
びわマス  
スモーク

ざるとうふ

打ち豆汁

健康茶

了みイ  
ご飯

食後  
おろし餅

新しい野菜ツブナの発売を  
確認できた山カブドレシ  
ングで味わおう。

滋養源の羽二重米、自家製  
梅のよもぎを使用

長浜市高月町月形地区にて古くから栽培されて  
いる伝統野菜「高月丸なす」。  
地元では「なすいんば」の名がある。昔ながらの  
食文化に引き継がれている。元々の自家製調味料、  
「なすの漬物」(塩漬け保存したもの)を戻したものを  
ご賞味ください。

旬の大豆を生かす  
味噌と大根の  
お味噌の味。

じみじもつは  
しじみの汁味  
が「つ」に移  
って美味なお  
いし。

湖北の伝統食のおいしさは、地元で採れる新鮮な食材を、何世代も人々の手を通して練り上げられてきた確かな技術と知恵で、調理されることにより、代々受け継がれてきた料理文化を、現代のみなさままで伝えていく「命の食」。この食事は「食文化」における食のあり方を追求してきて、その中で、滋養湖北の味をいかに大切にしたいと、バスタードまでいくための努力を怠りません。いかに大切にしたいと、つくり出すだけでなく、食べ方をも含めて、食で伝えていくことが大事です。「よばれやんせ弁当」は、それらを盛り込んだ新しい舞台になっています。

焼いて日本こけした鶏こ  
その出汁で炊いたそばめ  
一緒に食べると味の相  
が調子よくおもしろいぞ

大豆は湖北に産出の大豆  
えびは琵琶湖、ついでには  
水産のものが中心

滋養源 高月丸  
自家製梅のよもぎ  
使用

琵琶湖の固有種であるびわマススモーク、  
弾力のあるすり身を合わせ、薄切にしました。  
びわマスのせいのない味とよからず、そして  
色を生かして「スモーク」にも工夫を凝らし  
まに、やわらかな食感とスモークの香りが  
新しいびわマスの美味しさを創り出しました。

響けには生産者さんの  
情報が載っています！

うまみを充分に濃縮  
した厳選の近江牛  
ローストビーフ。

一晩ゆでて乾燥  
させた大豆(「打ち豆」  
)を入れた味噌汁、  
元の梅と味噌。

滋養源在任の契約農家さん  
に栽培していた伝統原料  
を使用した体にやさしい健康  
茶「蒸気茶、びわ茶、梅の  
香気、健康茶の種類のこだわり

天然びわマスの炊き込み  
ご飯。表面に薄く蒸か  
し、底層のみの汁を絡ませ  
びわマスを「肉」の具、い  
ちい

みんなが大好きな滋養  
源の三重餅を「つ」に  
新しいお味を味わって  
いただきます。

手描きの「よばれやんせ弁当」メニュー





## 第4回 よばれやんせ湖北 生産者一覧

	商品名	団体名/店舗名	住所・連絡先
湖漁 	BIWAMASU KAMABOKO ピワマスマーク	北びわこ水産(長浜市 水産物特産品協議会)	長浜市田村町1234 0749-62-1221
	アメノイオご飯	食まなび館	長浜市口分田町850-2 090-6378-0304 horikosi9858@yahoo.co.jp
お惣菜 	ざるとうふ 小	あやべとうふ店	長浜市北ノ郷町316 0749-74-2445 ayabetofu@yahoo.co.jp
	近江牛ローストビーフ	近江牛本家まるさ	長浜市平方町243 0749-68-2212
	伊吹大根	いぶきファーム	米原市大久保917 090-1078-6111
	山カブドレッシング・野菜サラダ (ツパリナ&ブロッコリー)	ロハス余呉/ ウッディパル余呉	長浜市余呉町中之郷260 0749-86-4145
	高月丸なす塩きり	長浜市農産物特産品 協議会(長浜合同青果)	長浜市田村町1234 0749-65-4100
	白菜たたみ漬け	三姉妹本舗	長浜市酢176 0749-73-3802
	しじみごぼう 唐辛子みそ大根	食まなび館	長浜市口分田町850-2 090-6378-0304 horikosi9858@yahoo.co.jp
えび豆	いわね書店	長浜市木之本町木之本1115 0749-82-2226	
ご飯&汁物 	焼きさばそうめん	富久や	長浜市大戌亥町665-3 0749-62-0692 info@fukuya-bentou.co.jp
	打ち豆汁	食まなび館	長浜市口分田町850-2 090-6378-0304 horikosi9858@yahoo.co.jp
その他 	お餅つき	吉田農園	長浜市三川町883 080-3001-9714
	健康茶(黒豆茶・なた豆茶 ブレンド・柿の葉茶・桑の葉茶)	近江の館	長浜市田村町1377-9 0749-63-0235 oyakata@beach.ocn.ne.jp
	名代草餅	菓匠 禄兵衛	長浜市木之本町木之本1087 0749-82-2172 honten@rokube.co.jp
	あきひめ 章姫(イチゴ)	純野菜王国	長浜市榎木町 090-8822-8360 mail@junoukoku.com





ミニマルシェにも花が咲く。よく売れました

# ～食 hana 咲かそう！～ 食について話す交流会 2014



Nadeshiko Farmers

農業などに関わる事業者・個人のネットワーク「なでしこファーマーズ」が主催する「食hana咲かそう！食について話す交流会〈作物から商品へ〉」。2014年度3回目の交流会は、昨年に引き続きホテル「セトレ マリーナびわ湖」との共催で生産者こだわりの品をスペシャルランチでいただきました。生産者も消費者もともに交流を深める特別な機会です。



ROSE FARM KEIJIの和ばら。  
花びらがふわり



食hana咲かそう！

## 食について話す交流会2014 ③ 作物から商品へ in セトレマリーナびわ湖



①



③



②

① リレートーク。3分間で説明とメッセージ ② 会場からの琵琶湖の風景 ③ 「おもしろい」と聴き入る参加者

琵琶湖大橋たもとのホテル「セトレマリーナびわ湖」は滋賀県の素材を食に建築にふんだんに活かした地域と共生する「コミュニティホテル」です。ここで、昨年引き続き「なでしこファーマーズ」とホテルが共催する「食hana咲かそう」食について話す交流会」を開催しました。

この日、ホテルのバンケットルームに滋賀県でこだわりを持って農業に取り組む生産者と関心を寄せる消費者60名が集い、取り組みを紹介するリレートークやミニマルシェの実施、そしてホテルのイタリアンシェフ吉村透氏がこだわりの食材をアレンジしたスベシャルランチをいただきました。

集った生産者の多彩な顔ぶれ。米、茶、野菜、近江の伝統野菜、酪農、和ばら、それぞれの業種の中でも全国で活躍する滋賀県が誇る方々でした。リレートークでは、20もの生産者様から随一のこだわり、心情が紹介され、参加者からは「新聞記事の連載で紹介されるような濃密さ」と評されました。トークで興味をかき立てられた参加者







③



②



①



⑥



⑤



④



⑧



⑦

①チーム北之庄の北之庄菜 ②古林牧場のチーズ ③池田牧場の加工品の数々 ④比里山クラブの赤しそのジュース(ヒラベリラ) ⑤ローザンベリー多和田のブルーベリージャムなど ⑥かたぎ古香園のほうじ茶と紅茶 ⑦fm craicの弥平とうがらしのスパイス ⑧ほら、さっそく名刺交換

一同は、続くミニマルシエでも面白い物を通して生産者との交流を楽しみました。

そしてこの会のメイン、吉村シエフによるスペシャルランチのお披露目です。参加の生産者からの食材を使い、シエフのアイデアとアレンジが加えられたランチコースは、一皿一皿が創意に満ちています。弥平とうがらしがアクセントになったイチゴのジャム、シカ肉の繊細な香りに驚きの声があがり、お米の食感を楽しむスープ、北之庄菜の苦みがマッチしたラグーパスタ…その中でも一番の驚きは、ほうじ茶が敷き詰められた浅い鍋で登場したホンモノ料理です。会場中にほうじ茶の香りが立ちこめる演出に全員が釘付けになりました。

最後には、池田牧場と和ばら作家 ROSE FARM KEEJEE のコラボレーションで開発されているばらのジェラートをいただきました。

この日の出会いがこのジェラートのように生産者同士、また生産者と消費者の新しいコラボレーションのきっかけ







5



1



6



2



3



7



4

## スペシャルランチ「湖国のキャンパス」

### メニュー

- ① 開演のグラス ヒラペリラ
- ② 弥平とうがらしと守山イチゴのジャム  
Fromage de Tsu-Tsuとそば粉のフリット  
fm craic × 古株牧場
- ③ 朽木天然シカ肉のタリアータと水ぐりの小鳥風  
朽木猟友会鹿肉加工組合×おうみんち
- ④ 菜の花とゆりかご水田米のミネストラ  
守山市 × 須原魚のゆりかご水田協議会
- ⑤ 木下牧場の近江牛のラグーと北之庄菜のソテー  
木下牧場 × チーム北之庄
- ⑥ 天然ホンモロコとビワマスのムース、下仁田ネギ  
とほうじ茶のアルメダポーレ  
松沢松治 × レイクスファーム × かたぎ古香園
- ⑦ Special Dolce (ローズジェラート、菜の花とホワイト  
チョコレートのケーキ)  
池田牧場 × ROSE FARM KEIJI × 守山市



「メニューを考えるのがとても楽しかった」と吉村シェフ

安心・安全な食は、このメンバーが支えます



けとなりそうな、いろいろな種を残し、スペシャルな交流会が開会しました。





醤油蔵の内部を見学

環人ウォーク

# M・O・Hな想い

## 醤油蔵リノベーションWS

- ◆日 時 / 2014年12月7日
- ◆場 所 / 長浜市三ツ矢町周辺
- ◆プログラム
  - 12:30 JR長浜駅集合
  - 13:00 醤油蔵見学
  - 13:45 三ツ矢町周辺まち歩き
  - 15:00 ワークショップ
  - 16:30 閉会
- ◆参 加 / 15人
- ◆主 催 / NPO 法人コミュニティ・アーキテクト ネット ワーク(環人ネット)
- ◆レポート / 近江環人 13期生 青木 吉史



北出町(現三ツ矢町)看板



## ◆山吉醤油店の未来を描く

三ツ矢町は、旧長濱町の北東、かつて十里街道、馬車道と呼ばれた二つの大きな道が交差するあたりにあります。この町で代々営んできた山吉醤油店が祖父の代でその歴史に幕を閉じたのは18年前のことですが、私が目にしてきた醤油屋の光景、醤油炊きの匂いは、今でもありありと思い出されます。

醤油屋だけでなく、十里街道に面した三ツ矢町の町並みもすっかり変わりました。左隣の茶碗屋、右隣の薬局、その隣の酢屋、パン屋…。数軒だけを残し、多くの店が通りに面した看板だけを残して店を閉じました。そして今では静かな住宅街となっています。

居心地の良い住宅街でも充分素敵ではないかとも思うのですが、何となく感じる寂しさに対し何かできることはないかと考えていたところ、縁あって、環人ネット関係の多くの方をお招きして、皆で、かつてあった山吉醤油店の未来について考える機会を得られました。

## ◆店・道・歴史・水・人・住・交

当日は、かつて醤油屋を構成した建物で唯一残る醤油蔵見学、三ツ矢町まち歩き、意見交換会が開催されました。醤油蔵見学とそれに続くまち歩きでは、私が良いなと感じているものや場所を皆さんにも見ていただきました。醤油造りに使う道具類、蔵の天井や梁に残る酵母でできたシミ（？）、昔の写真。十里街道や馬車道をはじめとした道の真っ直ぐさ、町中のいたる所を流れる水路のささやかな石垣の美しさ、等々。もしかしたら「良い」と感じているのも私の独りよがりすぎなかったのではという不安を余所に、参加された皆さんも、良いと言ってくれました。また、住んでいても気づかなかった新たな良さも見交わすことができました。そうして意見交換会で浮かび上がったキー

水路が今も残る







① 青木氏お気に入りの蔵 ② かつての三津屋村の氏神様、八幡神社 ③ 青木ファミリーと合同のワークショップ。左から2人目が青木氏

● おおき よしふみ 1984年長浜市生まれ。大学では能から生きる上で大切な多くのことを学んだ。社会人最初の4年間、故郷を離れ情報通信関連分野に奉職した後、地元に戻る。2014年4月から学ぶ近江環人地域再生学座では、自宅に眠る醤油蔵の活用をテーマに様々な構想を練っているところ。

## 三ツ矢町ルネサンス！ 青木吉史

人賤の森  
環人ネット  
近江環人

ワードは、「店」「道」「歴史」「水」「人」「住」「交」等々。三ツ矢町でこれから何ができるのかを考えるためのヒントがたくさん生まれた一日となりました。

三ツ矢町での醤油蔵を活かしたまちづくりは、まだまだ始まったのかわからないくらい小さなものですが、ただけゆっくりであっても、一步一步、しっかりと進めていきたいと思えます。





# 本の紹介

最近入手した、気になる本・CD・DVD  
をご紹介します。

BOOKS

近江商人と三方よし  
現代ビジネスに生きる知恵



- 著者／末永國紀
- 発行／モロロジー研究所
- 価格／2000円＋税
- 内容／CSRの日本的源流、売り手よし・買い手よし・世間よし。日本全国、そして海外をも見すえ、異郷の地で「から信頼を築き上げてきた近江商人たち。時を超えて生き続ける「商いの極意」を説く。M・O・H通信でも連載いただいていた末永先生の最新書です。

滋賀「地理地名・地図」の謎



- 発行／実業之日本社
- 価格／800円＋税
- 内容／滋賀の地理・地名・地図に隠された意外な歴史やエピソードを面白く紹介。

教室のいじめとたたかう  
大津いじめ事件・女性市長の改革



- 著者／越直美
- 発行／ワラックス
- 価格／830円＋税
- 内容／市長就任前に起きた衝撃的な事件、立ち上がった教育委員会の壁、第三者調査委員会の設置、そして全国の教育現場を大津モデルへ！ 若き女性市長が教育改革への苦悩と歩みを綴る。

人生が変わる親鸞のことば



- 著者／川村妙慶
- 発行／講談社
- 価格／1300円＋税

内容／悩み相談で知られる女性僧侶・妙慶さんが親鸞聖人の名言を現代の言葉で伝える。

「手塚治虫展」カタログ



- 企画／手塚プロダクション
- 印刷／サンエムカラー
- 内容／「アトムデビュー」60周年映画「ブッダ」公開を記念して2014年夏に滋賀県立近代美術館で開催された手塚治虫展、「ジャングル大帝」など、今なお愛され続ける作品に込めた手塚氏のメッセージを紹介。

湖国と文化150号  
創刊150号記念号



発行／滋賀県文化振興事業団

価格／584円＋税

内容／滋賀県を代表する文化情報誌。滋賀の歴史や風土、自然、文化芸術などを県内外に発信する。弊誌編集長が、信仰の美「湖北の観音さん」を寄稿。

2015年版 春季

労使交渉・労使協議の手引き



価格／1700円＋税

内容／「女性の活躍推進に関する取組み」に関して、新江州の女性力活性化委員会やM・O・H通信が紹介された。



# 美の滋賀語り部マイ★スターになろう！ 美の滋賀語り部マイ★スター講座 2014

## 第3回 街並みの美

近江八幡市  
本町～新町周辺



①「ここに隠し扉がね…」楽しそうに話す講師の濱崎氏②古民家を会場に、家の中も見学。庭先に立派な松の木が  
③旧伴家住宅は、かつて小学校や図書館としても利用された④参加者みんなで集合写真

滋賀にある様々な「美」とそれを培った風土を通して、滋賀の良さを知り、発信していく講座をNPO法人環人ネットが主導となり開催している。

第3回は2014年12月14日に「街並みの美」をテーマとして近江八幡市の街を散策。滋賀県立大学教授の濱崎氏を講師に迎え、近江商人の暮らしや気質を建築の視点から紐解いた。

第4回は2015年1月11日、「文化の美」をテーマに甲賀市の油日神社<sup>あぶらひの</sup>周辺を散策。滋賀県文化財保護協会の大沼氏による解説の下、200を超えてる城郭が存在し神に寄り添う甲賀の文化を学んだ。

2月15日には報告交流会が開かれ、まだまだ語り尽くせない滋賀の魅力や「語り部」として欠かせない話術の心得を、中井均氏、豊田一美氏、増田隆氏から教わった。

全4回の講座中3回以上の参加で「美の滋賀語り部マイ★スター」の認証を受けられる。今年度は4名のマイ★スターが誕生。おめでとうございます。





## 第4回 文化の美

甲賀市  
油日神社  
周辺

5



8



7



6

5 油日神社の山門・荘厳で勇壮 6 大沼先生から「滋賀が紡ぐ文化の美」を学ぶ 7 油日のご神体は山岳。神の姿を垣間見る仕掛けがある 8 神々が談合したいわれからつくられた



中井均氏から地域で  
つなぐ語り部のおも  
しろさを伝授



第5回報告交流会。豊田一美氏の話し方講座と、愛東地区の取り組みを昨年の受講生の増田氏が発表、地元で活動開始





# 山の上のイルカ

武部 治代



静寂の別天地・天を仰ぐイルカ(写真提供/武部 敏)

イルカは天に向かって訴えているような、私にはそう見えた。御嶽山噴火の数日後でもあったからだろうか。烈しい自然のエネルギーギーへの脅威、被災された人々、亡くなられた人々への悲しみや痛み、山に魅せられる者同士の辛さなどが押し寄せる。

あるいは見方によっては純粹に、明るく笑っているようにも見えるかもしれないイルカの姿の、自然の造形の偶然の巧みに驚かされた。山上で巨大なイルカに会おうとは――

夜八時自宅を出発し安曇野ICを降り、秘境に分け入って行くような陰しく曲りくねった中房溪谷の山道を深夜走り抜け、夜明けの燕岳登山口に至る。人里離れたこの辺り、

中部山岳国立公園内中房溪谷は、単純硫黄温泉が湧きだしている地でもある。

早朝に登山口を出発し登ること四時間、合戦小屋(名物日本一という下原のスイカと、合戦うどんが有名という休憩地、残念ながら十月ではスイカはない)を経て合戦尾根を登るうち腹痛がはじまった。かつての大病の、長年の後遺症が時も場所もかまわず顔を出しはじめたが、何とか騙しだましもちこたえ、ようやく燕山荘に着く。荷を置いて燕岳の山頂に向かう。

北アルプス燕岳は独特の白い砂状の山肌で成り立ち、這松の緑と白い岩峯群で他の山では見られない光景を見せている。山頂に至る間ずっと、この自然が創り上げた奇岩が群れをなし、人間によって命名されたメガネ岩、ゴリラ岩、イルカ岩等々、幻想世界が展がっている。すべすべした優しい岩肌を見せるこれらの岩も、花崗岩の地質上いつか年月を経てやがては形をかえていくだろう。イルカ岩の前に立って登山者は申し合わせたようにイルカと写真を撮り、賑やかに触れていく。だが、人の途





絶えた例えば夜中の刻、宙を仰ぐイルカの孤の姿は深い神秘に包まれているだろうと思われた。

燕岳山頂からは直下の、稜線上の燕山荘が、ときに流れる霧の中にまるで〈天空の城〉のように浮かび上がる。赤い屋根が美しいたたずまいを見せる。近ごろ有名になっている兵庫県の竹田城跡（虎臥城）の風景と重なる光景をみせている。三六〇度の展望の中に立ち大自然に包まれると、いつも己の了見の狭さや煩惱の醜さまで思われて、心洗われていくのを覚える。山も海も大地も、地球そのものが言い難い気を発しているように思われるのはふしぎな感覚である。

御嶽山噴火と同時季の登山であったということ、そしてまたもう一つの理由（一九五九年に学生の、燕岳から槍ヶ岳穂高連峰縦走遭難事故があり、遭難防止対策の一環として合唱組曲『山に祈る』（作詞・作曲 清水脩）が生まれ今に歌い継がれている）もあって、私には思い入れの深い山であり、燕岳は忘れ得ぬ一つの山になっている。



燕岳 (2,763m) 頂上より臨む北燕岳



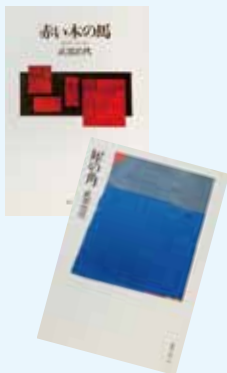
はるかに、稜線上の燕山荘

## 武観 自在 部法代

●和歌山県生まれ。各地転居、現在滋賀県人として最も長い年月となる。滋賀県市民と自治研究センター、月刊『市民と自治』編集委員、のち親しみやすいタイトル『ビーブルプレス』と改名、1993年8月終刊。その後大津市文化祭実行委員会「湖都の文学」編集委員、滋賀県文学会理事・県文学祭詩部門選者を経て現、滋賀・九条の会事務局所属。大津市文化賞、滋賀県文化功労賞受賞。

日本現代詩歌文学館評議員。近江詩人会会員、日本現代詩人会会員。詩誌「ふりが」〔乾河〕同人。

著書／詩集『くり船力オス』『ふりむこつとしなし鹿』『鳥は靴をはかなし』『エッセイ集』『犀の色』『赤い木の馬』。



# 山暮らし子育て日記

作：松エキ

オノミキ、13年間  
住まわせてもらった家を  
離れることに。

その矢は... すぐ下!!

同じ朽木木地区!!

「サヨナラ、ありがと!」

このたび木地区の地に  
家を建てました!!

柱や壁、本棚、戸棚!!

ぜんぶスギの木。

しかも、ほとんどが  
朽木の山のスギ。

中には、山仕事を  
しているグリーンが  
伐採した木もあるなも!!

あ? 木? あ? 木?

朽木うまれ♡  
朽木育ち♡

この家を建ててくれた  
大工さんも、朽木産!!

二枚が山岸工場の  
こだわり その①!!

集めて

家業を継いだ長男  
雄亮くんは、

木をこよなく愛する若者。

集めて No.1 匠の心

岸本工務店

岸本 工務店

こだわりの②  
木の目を生かす。

あなげ様  
手作り感  
たっぷりの  
木のぬもろ  
らばいの  
家になりました。

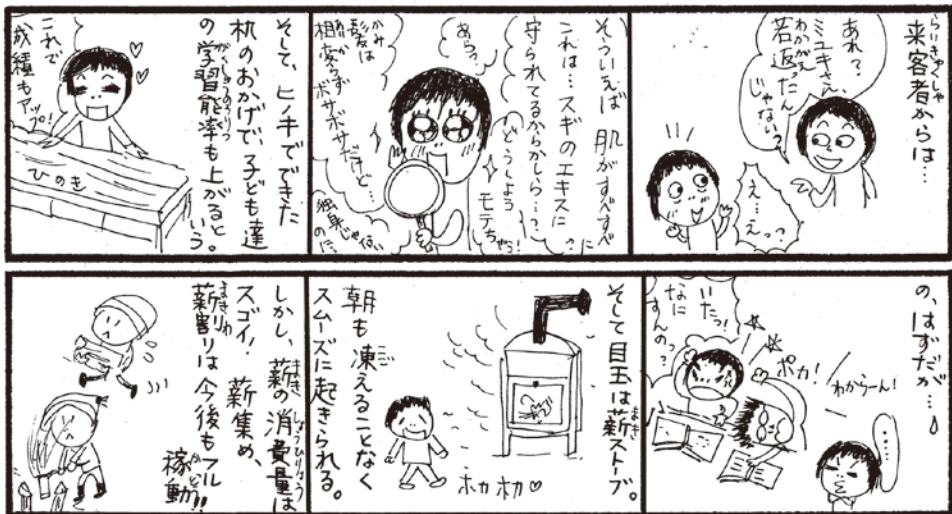
二枚の③は、  
なるべく地元や若手の  
業者をつかう。

台所の扉も木の目が  
そろってて美しい!

なみ あたら  
いけども  
よんぞくたさーい

台所の扉も木の目が  
そろってて美しい!





●本名加藤みゆき。人口17人の集落に住み3人の子育てに奮闘中。将来、家族で海外へ旅行するのが夢。



「玄雲川流域家づくりの会」(探索してね!)は、滋賀県産の木材を使って家を建てる主旨に賛同した設計士、工務店、木材供給者などの方々が集まった会です。我が家を設計してくれた宮村さんが代表を務めています。岸本工房さんは2年前に入会した若手です。

まさに地産地消のこの家は、木材をふんだんに使っている証拠として「息」を感じます。薪ストーブを焚いていても乾燥しないのは木材に湿気があるから？時々、ピシッと柱や梁の割れる音は少しずつつ乾いてきているから？一本一本の木材がまだ生きているから、形も変化する。だから正直言って、予想外の問題も多少ある。でもそこは近場に大工さんがいるという強みに甘えられるのです。「ちょっと見に来て」「ちょっと直しに来て」。忙しいはずなのに快く駆けつけてきてくれます。「春になるまで様子をみてみよう」と、もう引き渡しも終わっているのに家の面倒を見てくれるのです。モノだけでなくヒトの地産は良さと同時にありがたさを感じます。



# 講演日記

皆様のご支援でたくさんの講演依頼を頂きました。2014年12月～2015年3月の講演をダイジェスト版でお知らせします。

## もったいない学会 第1回学術・事例報告大会



- 日時：12月13日
- 場所：東京大学
- 講師：辻村琴美
- 演題：「持続可能社会の扉をひらく市民参加」
- 対象：会員
- 参加：約25人
- 内容：有数の地球に生きる未来戦略を探

ることを目的に開催。新たなまちづくりにおける住民参加型の成功条件の事例として、M・O・H活動を紹介した。

## 滋賀県立大学 政策形成・施設演習



- 日時：12月25日
- 場所：滋賀県立大学
- 講師：上岡瞳
- 演題：「学科O・B・Gによる講義」
- 対象：1回生
- 参加：約40人
- 内容：民間企業で環境の仕事に携わる可能性について探求。可能性、やりがい、どの

ような準備をすればよいのか、ディスカッションを交えて行った。

## 執筆者懇談会38



- 日時：12月26日
- 場所：旧大津公会堂
- 参加：11人
- 内容：47号「社会未来へのラブコール」の特集を決定、今後の取材先の候補を検討した。M・O・H塾の活動報告、M・O・H Cafe2の企画も検討。
- 日時：1月24日
- 場所：セトレマリー

## 食hana映かそっ！ リレートーク

ナびわ湖

- 対象：辻村琴美
- テーマ：「M・O・H通信」
- 対象：一般
- 参加：60人
- 内容：なでしこフェア

マーズが主催する同イベントにて、20もの生産者の皆様によるリレートークを実施。※食hana映かそっ！のレポートは51ページ

## 『湖国と文化』 読者交流会

- 日時：2月10日
- 場所：琵琶湖ホテル
- ゲスト：辻村琴美
- 演題：「もったいない、おかげさま、ほどこに」
- 対象：一般
- 参加：約10人
- 内容：「湖国と文化」創刊150号を記念し、読者交流会が開催された。編集長・辻村がゲストとしてM・O・Hを紹介した。

## 講演スケジュール

### M・O・H Cafe2

- 日時：3月15日
- 場所：長浜ロイヤルホテル
- 内容：昨年に続き、第2回目となるM・O・H通信読者交流会「M・O・H Cafe2」を開催。弊誌の原点である森孝之氏（アイトワ）や山崎隆氏（麦の家）のお話など盛り沢山！開催の様子は次号でお届けします。

### ふんふんふんふん CAUS

- 日時：3月21日
- 場所：ブータンミニージャム(福井県)
- 講師：森建司
- 演題：「私の幸福感」
- 対象：一般
- 内容：国連で制定されている「国際幸福デー」(3月20日)を記念して開催される。





# M・O・H塾開催

M・O・H精神を持つだけでなく、M・O・H生活を実践する人を増やそうと2014年12月からスタートしたM・O・H塾。「技」を持った人たちが集まり、コラボレーションしたり継承したい「技」について語り合ったり、ここで繰り広げられる話は「具体化」と「実践」へつながっていく。



## 第2回

- 日時：12月13日(土)17:00～
- 場所：木之本町の古民家「源佐」
- 参加人数：29名(大人26名、子ども3名)
- スピーカー：樋口さん「薪ストーブのある暮らし」
- コメンテーター：内藤先生  
「薪ストーブの暮らしが山の手入れにもつながり、それが地域産業を興し、地域の活性化に結び付き、また自然と暮らしが繋がる」ということを、熱伝導率などの細かなデータをもとにわかりやすくお話しいただいた。

## 第3回

- 日時：2月7日(土)13:00～
- 場所：木之本町の古民家「源佐」
- 参加人数：18名(大人16名、子ども2名)
- 内容：第4回のゲスト、藤村先生をお迎えするにあたり、どんな話をしてくださるかを検討
- 話題になったこと
  - 長浜市を中心とした自給圏を確立するにはどうしたらよいか

- 本物の手仕事や百姓の技術を若い世代にどのように伝えていくのか(未来に残していくのか)
- どこまで「ほどほど」するのか。今の若者は生まれたときからコンピューターや便利なものに囲まれて、昔ながらの道具などを知らない
- 個々の職人の技術は進化したが、他の仕事との接点がない
- (20代の意見)生まれてくる自分の子どもが電磁波まみれの生活をさせるのは怖い。ほぼ自然に近い暮らしに戻らなければならないと思うが、戻るところがわからない
- 子どもにゲームではなく、ゲームに代わる「代替」(外や山での遊びなど)をいかにするのか
- 年寄りや百姓の技を遊びを通して子どもに伝えなければ
- みんなの技が集まってきたら、地域の中でそれぞれの特技を生かして収入につなげる仕組みができれば良い
- 年寄りが畑ができる家族経営の農業が大切
- 国や制度を批判しても始まらない

## 第4回

- 日時：3月11日(水)10:00～
- 内容：藤村先生講演会
- テーマ：①未来に残したい仕事  
②自給圏 地域特性を生かして自給自足するヒント

※この模様は次号48号でお伝えします。





# 未来へのラブコール

辻村 琴美

幸福とは、心が満ち足りることにある。福とは、運が良いという意味がある。おなかがいっぱいになり運の良いことで心が満ち足りて、幸福だと感じる。日本の漢字は、字画と表現が合体していて、意味を掘り下げると本質が読み解けて面白い。

1979年10月～1980年4月まで朝の連続テレビ小説第24作に『鮎のうた』がある。滋賀県大津市出身の花登筐（はなとこばこ）作・脚本で最高視聴率は49%（関東地区リサーチ調べ）の人気ドラマ。ヒロインの浜中あゆを山咲千里が演じた。

17歳で故郷の滋賀県長浜市から商都・大阪へ出た浜中あゆが、船場の糸問屋に奉公し、激しい流れにもまれながら御寮さん（女主人）になるまでを描く。ヒロインの亡くなった母親役で吉永小百合が出演して話題になった。（作：花登筐 音楽：小倉博 語り：フランキー堺）

作中、「琵琶湖の鮎は、外に出たら大きくなるんや」と、いう意味の表現があった。確かに、琵琶湖は栄養が少なく変化も少ないので大きくは育たないかもしれない。下流

もしくは琵琶湖の外に出ると、周囲の変化が大きいために、栄養が豊富で大きくたくましく育つ。言い得て妙（巧みに言い表している）だ。大阪に出たヒロインのあゆは努力を積み重ね、御寮さんへと歩を進める。そんな中で、幸福を感じるのとは、どういう時なのだろう。富を得たことだろうか？

『鮎のうた』は大正末期、昭和27年頃の時代設定だ。戦争という大きな時代の変換期にあった。視聴者は、登場人物が、困難を乗り越えていく過程の逞しさと面白さに魅了された。そして、それを楽しませてくれる多様な人間関係に一喜一憂した。

豊かになり、経済成長をめざす現在の日本では、何を幸福というのだろうか。富を得ること（セレブになる）、成功すること（出世する）、競争に勝つこと（勝ち組になる）、結果だけを重視していいだろうか？ ♪幸せってなんだっけ？♪というCMソングではないが、幸せと豊かさについて一考することが未来へのラブコールにつながるのではないだろうか。



# 「循環型社会を目指す～M・O・H通信～」の発行に当たって

代表 森 建司

20世紀型社会は経済至上主義の時代であった。科学技術の進歩とそれに伴う工業や流通の発展は、世界的なスケールで人々に物による恩恵をもたらしたが、同時にバランスのとれた自然との共生社会を破壊した。経済至上主義とは物の豊かさを最高の幸せとして捉え、その対極にあるものの価値をほとんど消し去ろうとするものである。人々の価値観を情報操作で画一化して、特定のものに集中させようとするマーケット戦略は個人の人生観、社会観にまで侵入し、その独自性、不可侵性まで奪って行った。このことによって人々は哲学的な意味の自己をなくしてしまった。

今こそ新しい時代として循環型社会を作ろうとしているわれわれは、自己を証明する心か思いを取り戻さなければならない。死生観や人生観、先祖や子孫、生涯をかける志、自己を自己らしく生き抜くための人生哲学など。そしてそれは自然との共生社会を目指すものであり、人としての真の生き様を問うものであらねばならない。

この実現のために

「循環型社会を目指す～M・O・H通信～」を発行する。

## 《 M・O・H通信概要 》

### ■目的

- (1) 循環型社会構築に向けた意識改革
- (2) 浪費型社会通念の脱却
- (3) 人生哲学を学ぶ

### ■事業

- (1) 通信の発行及び出版
- (2) 講演会、勉強会、シンポジウムなどイベントの開催

### ■事務局

〒526-0111

滋賀県長浜市

川道町759-3

循環型社会システム研究所

TEL.0749-72-5277

FAX.0749-72-8681

e-mail:tsujimura@

shingoshu.co.jp

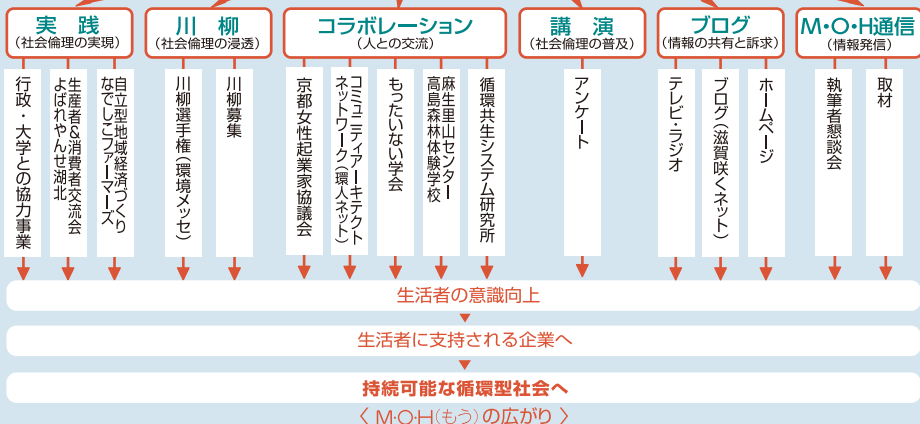
代表:森 建司

担当:つじむら ことみ

上岡 瞳

## [ M・O・Hコンセプトシート ]

M・O・H=循環型社会をめざす言葉  
(もったいない・おかげさま・ほどほどに)





## 読者の声

★ 人生100歳時代、M・O・Hの心で幸せ人生。

栗東市 國松善次

★ 45号「足るを知る」という言葉が心に残りました。

高島市 池田充彦

★ 46号「もったいない 今ある命 あるかぎり」が心に残りました。笑顔は幸せのバロメーターです。当方「笑顔」をあふれる社会のために日本語と英語の落語を提供します。

大津市 平田一男

★ 東大でもつたいない学会でお目にかかれて嬉しく思いました。地域の活動の幅広さやいきいきと関わっておられる地域の皆さんの様子がわかる、すばらしい通信だと思います。コンセプトのもとに集まるたくさんの方々の協力と熱意でできあがっているのだと強く感じます。

ラムサール・ネットワーク日本 安藤

★ 四日市大学のシンポジウムでいただいた感動しました。

四日市市 久保田領二郎

★ 滋賀県と三重県の橋渡しを心から願っています。

四日市市 美里けんじ

★ M・O・H通信、何回か読ませて頂きました。とても興味深い記事が多いです。

大津市 澤井栄子

★ すてきな通信ですね。以前、内藤先生のところで見せて頂きました。楽しみにしております。

西宮市 村山日南子

★ いつもM・O・H通信をお送り頂きありがとうございます。

大津市 小林順子

★ 長く続けられている活動に敬意を表します。

大阪市 林春夫

★ なにわエコ会議主催「エシカルスタイル 幸せの食物語」に参加して、掘越先生のお話を聞き「米と大豆で生きていける」と思いました。

高槻市 加藤由紀子

★ 前麻生里山センター理事長の玉垣勝さんが2月に亡くなれました。M・O・Hの会に出席するのを楽しみにされていて、刺激があつて勉強になる、とおっしゃっていました。今後もM・O・Hの会の発展を願ってらっしゃることと思います。

高島市 加藤みゆき

## M・O・H cafe

♪ 酒飲む亭主に もったいない ほどほどにして！

米原市 村上寛治

♪ 老いた身と 孫の成長 反比例

横浜市 山田学

♪ 後世に 生き方のこず M・O・H

守山市 佐藤 妙子

## 《次号予定》

2015年6月発行予定

### ■特集:『原点』先人に学ぶ・衣

● M・O・Hな酒蔵／「伝統と土地の恵みを

酒に醸して」上原酒造

● 対談／「創業の心」鮎家・齋藤利彦会長  
+森建司

● 取材／「シャツのオーダーメイド」

● 取材／「ノラ服の藍染め」

● 寄稿／「琵琶湖の真珠」

● 寄稿／「しがのええもん」

● レポート／「M・O・H cafe2」

● 寄稿／「松尾寺からの提案」

● 連載／通常通り

※敬称略、予告なく変更いたします

## 編集光記

● 麻生里山センター前理事長の玉垣勝氏の訃報に接し残念でなりません。暖かな笑顔が忘れられません。ご冥福をお祈りします。……こと

● 長浜に住んで早3ヵ月。甘い白菜は寒さのおかけ？ 週末には八風街道に導かれ、大好きな故郷に「ただいま」。……ひとみ

● 文旦の皮でマーマレード作り。美味しくてゴミが減らせてニンマリ。「健気な日本人!」と花田先生の涙を誘うエピソード? (詳しくはP.30) ……あや

● 三日月知事の第一印象は「ええ声」。電車の運転手だったからか。信念の強さか。滋賀の発展への希望となる記事になれば。……のりこ

● 「しがのええもん五十三次」食べてみたいものがあすぎる～……なおこ



# 《M・O・H通信》受付中!

あなたも「M・O・H通信」を読んでみませんか。特典として、M・O・H通信、講演会のご案内をいたします。あなたの活動やこの通信についての、ご意見もお聞かせください。

fax(あれば)、e-mailアドレス(あれば)、心に残った一言をご記入の上、お申し込みください。M・O・H通信をお送りします。申込書をfax、郵送、mailでお送りください。

お名前、年齢、郵便番号、住所、電話番号、

## 《M・O・H通信》申込書 0749-72-8681

フリガナ		年齢	希望冊数
お名前			
住所	〒		
電話	FAX	メールアドレス	
あなたの心に残った一言、MOH川柳をお書きください。			

※記入いただいた内容については、目的以外のことに使用または転用はいたしません。

キリトリ線

## M・O・H通信 Vol.47(通巻48号) 2015年3月20日発行 発行部数6,500部

### ●編集・発行/新江州(株)

循環型社会システム研究所  
M・O・H通信編集局

代表 森 建司  
編集長 つじむら ことみ  
編集 上岡 瞳  
取材 山崎 彩  
北井 香  
飯田 智子  
松田 千春

デザイン 伊達デザイン室  
写真 辻村写真事務所  
宇留野 元徳  
鶴岡 修

表紙 辻村写真事務所  
印刷 プランセル  
ホームページ プランセル

### ●創刊/2003年3月度

### ●執筆者懇談会

内藤 正明	木村 至宏
嘉田 由紀子	小林 隆彰
海東 英和	山口 美知子
今関 信子	岡部 達平
末永 國紀	豊田 一美
花田 真理子	熊谷 英彦
弘中 史子	藤井 絢子
山崎 隆	仁連 孝昭
三山 元暎	今森 光彦
加藤 みゆき	川戸 良幸
清水 安治	鶴岡 修
森 孝之	フライアンウリアムス
堀越 昌子	中川 善雄
結城 美枝子	古田 紀子
井上 昌幸	
徳永 拓美	(順不同・敬称略)

### ●ご協力

滋賀県	滋賀県立大学
琵琶湖環境科学研究所C	近江環人 地域再生学座
もったいない学会	NPO法人環人ネット
循環共生社会S研究所	野洲生活学校
高島森林体験学校	EEネット
麻生里山センター	中小企業家同友会

(順不同)

### ●支援

新江州(株)  
〒526-0111 滋賀県長浜市川道町759-3  
TEL.0749-72-5277 FAX.0749-72-8681

### ★ブログ★

<http://moh.shiga-saku.net/>

### ★ホームページ★

<http://www.mohmoh.jp/>



MOH図書館

検索 

※記事中での写真・本文につきましては、無断転載を禁じます。

START

パラパラマンガをお楽しみください

